

目 次

**「Ctrl」キーを押しながら目次欄(下線部分)をクリックすると、
該当ページまで移動します。**

<u>出席委員</u>	2
<u>政策課の予算審査</u>	5
<u>総務課の予算審査</u>	25
<u>都市整備課の予算審査</u>	33
<u>産業振興課・農業委員会事務局の予算審査</u>	48
<u>震災復興推進室の予算審査</u>	54
<u>総括質疑及び現地調査箇所を選定</u>	58

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS第1水準漢字」を使用しています。
このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場
合があります。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

平成29年 利府町議会予算審査特別委員会会議録（第2号）

平成29年3月7日（火曜日）

出席議員（1名）

議長 櫻井正人君

出席委員（17名）

委員長 吉岡伸二郎君

副委員長 後藤哲君

委員 鈴木晴子君

西澤文久君

小淵洋一郎君

安田知己君

木村範雄君

土村秀俊君

高久時男君

鈴木忠美君

吉田裕哉君

永野渉君

及川智善君

遠藤紀子君

渡辺幹雄君

郷右近隆夫君

羽川喜富君

欠席委員（なし）

説明のため出席した者

副町長

伊藤三男君

財務課長

高橋三喜夫君

政策課

課長

小幡純一君

政策班長

鎌田功紀君

政策班主査

浅野智寛君

政策班主査

櫻井貴徳君

地域協働班長

星浩幸君

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

地域協働班主幹	門田唯志君
地域協働班主査	平塚智美君
文化複合施設推進班長	千田耕也君
文化複合施設推進班主幹	大場雄文君

総務課

課長	折笠浩幸君
総務管理班長兼 人事法令班長	後藤仁君
総務管理班主幹	千葉友弥君
人事法令班主幹	藤岡章夫君
人事法令班主任主査	小野寺厚人君

都市整備課

課長	櫻井昭彦君
施設管理班長	庄司英夫君
施設管理班主幹	村田晃君
施設管理班主幹	大野尊行君
施設管理班主査	内田健一君
施設管理班主査	赤間崇光君
都市整備班長	上野昭博君
都市整備班主幹	鈴木光昭君
都市整備班主任技術主査	佐藤真文君
都市整備班主査	鈴木崇裕君

産業振興課・農業委員会

課長兼農業委員会事務局長	伊藤智君
商工観光班長	大谷浩貴君
商工観光班主幹	芳賀明英君
商工観光班主査	小畑貴信君
農林水産班長	鈴木喜宏君
農林水産班副参事	櫻井清喜君
農林水産班主査	鈴木俊也君

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

震災復興推進室

室	長	阿部義弘	君
事業推進第一班	長	近江信治	君
事業推進第一班	技術主幹	戸枝潤也	君
事業推進第一班	主任主査	渡辺淳一	君
事業推進第一班	主査	成田奈穂美	君
事業推進第二班	長	鈴木喜勝	君
事業推進第二班	主任主査	大和田浩史	君

議会事務局職員出席者

事務局	長	鈴木則昭	君
主幹		櫻井渉	君
主任	主査	利玲子	君
主事		森沙耶香	君

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

午前9時28分 開 議

○委員長（吉岡伸二郎君） おはようございます。

これより予算審査特別委員会を再開いたします。

審査日程表により進めてまいりますので、円滑な議事運営に御協力をお願いします。

ただいまの出席委員は17名です。

審査に入る前に申し上げます。質疑に当たっては1人2問から3問程度とし、それ以上の質疑がある場合には質疑が一巡した後にお願いいたします。また、質疑の際はわかりやすく簡潔をお願いします。さらに、質疑が重複しないようできるだけ関連質疑で対応するようお願いいたします。

予算の審査でありますので、趣旨を逸脱しないようくれぐれもよろしくお願い申し上げます。

それでは、審査日程表により**政策課の予算審査**を始めます。

内容の説明に先立ち、政策課長より本日出席している説明員の紹介を願います。政策課長。

○政策課長（小幡純一君） 皆さん、おはようございます。

それでは、本日出席しております政策課の説明員を紹介いたします。

最初に、前列、政策班から行います。

政策班長の鎌田功紀でございます。（「鎌田功紀です。よろしくお願いいたします」の声あり）

主査の浅野智寛でございます。（「浅野智寛です。よろしくお願い致します」の声あり）

主査の櫻井貴徳でございます。（「櫻井貴徳です。よろしくお願い致します」の声あり）

次に、2列目、地域協働班になります。

地域協働班長の星 浩幸でございます。（「星 浩幸です。よろしくお願い致します」の声あり）

主幹の門田唯志でございます。（「門田唯志です。よろしくお願い致します」の声あり）

主査の平塚智美でございます。（「主査の平塚智美です。よろしくお願い致します」の声あり）

次に、3列目、文化複合施設推進班になります。

文化複合施設推進班長の千田耕也でございます。（「千田耕也です。よろしくお願い致します」の声あり）

主幹の大場雄文でございます。（「大場雄文です。よろしくお願い致します」の声あり）

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

最後に、私、政策課長の小幡純一でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。政策課長。

○政策課長（小幡純一君） それでは、政策課に係る平成29年度当初予算につきまして説明申し上げます。

初めに、平成29年度利府町各種会計予算書の説明をいたします。

8ページをお開きください。

第2表の継続費でございます。

2款6項文化複合施設整備事業の継続費につきましては、平成29年度から用地買収や造成工事などハード整備に本格的に着手してまいりますので、円滑に事業執行するため平成32年度までの継続費として総額で36億377万2,000円を設定するものであります。内容でございますが、事業スケジュールに合わせて平成29年度は用地購入費、補償費、造成工事等を計上いたし、平成30年度は造成工事と建築工事、平成31年度は建築工事、平成32年度は建築工事と外構工事などを予定しております。

9ページをごらんください。

第3表債務負担行為のうち政策課分として総合情報システム（基幹系）賃貸借事業、町民バス車両賃貸借事業、町民バス運行业務事業の3件を設定するものでございます。内容についてでございますが、総合情報システム（基幹系）賃貸借事業につきましては、現在使用している総合情報システムが平成29年度で満了となりますので新たに更新することになりますが、プロポーザル方式による業者選定等を考えております。

次の町民バス車両賃貸借事業でございますが、町民バスの車両賃貸借契約期間は、東部路線の車両と代替車両の2台が平成29年度末まで、西部路線の車両が平成30年8月までとなっておりますので、今回債務負担行為の設定を行うものであります。なお、新車両につきましては納品が受注より2年ほどかかる予定でありますので、その間は現在の車両を引き続き賃貸し、新車両は平成31年度から6年間での賃貸借契約を結ぶこととしております。

次の町民バス運行业務事業につきましても契約期間が平成29年度までとなっておりますので新たに債務負担行為の設定を行うものであります。

次に、予算説明書の①をお願いしたいと思います。

初めに、歳入の主なものから説明いたします。

8ページをお開きください。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

13款1項1目総務費負担金2節総合情報システム負担金につきましては、水道事業会計からの総合情報システムの利用負担金としまして、職員数の案分により700万1,000円を計上しております。

9ページをごらんください。

14款1項1目総務使用料1節行政財産使用料のうち、コミュニティセンター使用料につきましては17万2,000円を計上しており、前年度と比較して3万5,000円の減となっております。内容としては、JR利府駅の改札口の一部と自動販売機1台分の貸付使用料となっております。

同じく3節まち・ひと・しごと創造ステーション使用料につきましては、昨年11月より運営を開始したt s u m i k iの施設使用料として150万円を計上しております。

同じく4節町民バス使用料につきましては、737万6,000円を計上しており、前年度と比較して38万9,000円の増となっておりますが、前年度実績等から若干の増を見込んでいるものであります。

次に、13ページをお開きください。

15款2項1目総務費国庫補助金1節社会保障税番号制度システム整備補助金につきましては、58万4,000円を計上しており、前年度と比較して789万円の減となっております。これは、前年度において、住民基本台帳や税関係など、各種システムの改修を終了していることから、大きく減額となっております。平成29年度におきましては、7月の地方自治体間の連携開始に向け、保留になっていた障害者福祉システムや児童福祉システムなど4種のシステム改修に係る国からの補助金となっております。

同じく3節地方創生推進交付金1,300万円につきましては、地方創生事業の一環として進めるまち・ひと・しごと創造ステーションt s u m i k i運営と人づくり事業として進める（仮称）まちづくり大学事業に係る国からの交付金を見込んだものであり、交付率は事業費の2分の1となっているものであります。

同じく4節地域公共交通確保維持改善事業費補助金515万7,000円につきましては、地域公共交通網形成計画策定に係る補助金で、補助率は2分の1となっております。

次に、14ページをお開きください。

15款2項5目土木費国庫補助金1節社会資本整備総合交付金のうち、一番下にあります新太子堂地区都市再生整備計画事業費交付金1億436万円につきましては、文化複合施設の整備に係る交付金となっております。これは、用地購入費や造成工事等に係る交付金を計上しているも

ので、交付率は40%を見込んでいるものでございます。

次に、17ページをお開きください。

16款2項1目総務費県補助金2節バス運行維持対策費補助金につきましては、94万3,000円を計上しており、前年度と比較して6万4,000円の増となっておりますが、町民バス2路線の経費に対しての県からの補助金を見込んでおります。

次に、20ページをお開きください。

16款3項1目総務費委託金、21ページの6節統計調査費委託金につきましては、177万円を計上しており、前年と比較して69万1,000円の増となっております。これは平成28年度より多く統計調査を実施することに伴い、委託金が増加するものであります。

なお、国勢調査第1次試験調査についてであります。平成32年の国勢調査の実施に向けた試験的な調査となっているもので、県内では本町と仙台市のみが調査対象として選定されております。

次に、17款1項2目利子及び配当金1節利子及び配当金のうち、ふるさと創生基金、土地開発基金及び22ページの図書館建設基金につきましては、それぞれの基金から生じる利子を計上しているものであります。

なお、図書館建設基金につきましては、本格的に文化複合施設の整備に着手することから、図書振興班から文化複合施設推進班へ所管がえを行うものであります。

同じく3目土地開発基金運用収入であります。前年度とほぼ同額の122万2,000円を計上しております。これは基金で所有している2カ所の土地の一部について貸し付けを行っているものでありまして、1つは利府駅前広場の用地の一部を株式会社まちづくり利府に、もう一つは都市計画道路大町線用地の一部を役場職員駐車場会に貸し付けしているものであります。

次に、23ページをごらんください。

19款2項2目ふるさと創生基金繰入金134万6,000円につきましては、町民交流支援事業として「十符の里 - 利府」フェスティバル事業へ充当とするものであります。

次の3目都市開発基金繰入金122万3,000円につきましては、土地開発基金運用収入と利子を合わせた額での繰入金となっております。

また、5目図書館建設基金繰入金1億5,600万円につきましては、文化複合施設の整備事業へ充当するものであります。

次に、24ページをお開きください。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

21款3項1目総務費貸付金元利収入1節総務費貸付金元金収入につきましては、前年度と同額の4,236万8,000円を計上しております。これは、地域総合整備資金、一般的にはふるさと融資と言われるもので、平成29年度は3件の貸し付けの償還分となっております。貸付額は、仙塩利府病院へ4億3,000万円、高齢者福祉複合施設老ノ町へ5,000万円、りふの内科クリニックへ1億5,000万円となっております。

次に、25ページをごらんください。

21款5項3目雑入、26ページの8節雑入のうち、4行目のオータムジャンボ宝くじ市町村交付金につきましては、ここ数年の実績から700万円を計上しているものであります。この交付金につきましては、小中学校の入学支援事業として体操着等の支給を行っておりますが、こちらへの充当することとしております。

次に、歳出につきまして説明いたします。

37ページをお開きください。

2款1項6目諸費につきましては、4,631万1,000円を計上しており、前年度と比較し108万1,000円の増となっております。増額の主な内容といたしましては、19節負担金、補助及び交付金の集会所建設事業として春日二部集会所の修繕費を補助するものであります。

次の7目町民活動支援費につきましては、4,582万8,000円を計上しており、前年度と比較して719万9,000円の増となっております。増額の主な内容といたしましては、38ページの13節委託料600万円であります。地方創生推進交付金を活用し利府町まち・ひと・しごと創生総合戦略のコアプロジェクトに位置づけているまちづくり大学を開講し、共同のまちづくりに向けた意識の醸成や人材、団体の育成支援を図っていくこととしております。

また、19節負担金、補助及び交付金の「十符の里 - 利府」フェスティバル事業ですが、町制施行50周年ということもありまして、町との協賛事業も行うこととしております。

次の9目コミュニティセンター管理費につきましては、530万3,000円を計上しており、前年度と比較し12万6,000円の増となっており、コミュニティセンターの維持管理に要する経費でございます。

次に、40ページをお開きください。

2款1項13目情報政策費につきましては、2億8,960万1,000円を計上しており、前年度と比較し、8,116万4,000円の増となっております。増額の主な内容としましては、13節委託料のうち、債務負担行為で説明いたしましたが、総合情報システムを更新するに当たり、その業者を

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

選定するためのプロポーザル業務等への支援業務や新たなシステム導入に伴うデータ移行に係る費用が発生することにより増額となっているものであります。

また、平成29年度におきましては、歳入でも申し上げました社会保障税番号制度の情報連携が開始されることを受けまして、運用テストの業務委託料を新たに計上しております。

41ページの14節使用料及び賃借料では、債務負担行為での契約に基づく総合情報システム関係の賃借料。19節負担金、補助及び交付金では、宮城県自治体情報セキュリティクラウドの運用の経費等を計上しております。

次に、42ページをお開きください。

一番上の14目行政改革推進費につきましては、前年度とほぼ同額の14万円を計上しており、主に8節報償費の行政改革推進委員会の謝金となっております。

次に、51ページをお開きください。

2款5項1目統計調査総務費につきましては、16万7,000円を計上しており、宮城県統計協会への負担金や町の統計調査員協議会への補助金となっております。

次の2目国委託統計費につきましては、175万5,000円を計上しており、前年度と比較し69万1,000円の増となっております。これは、歳入でも申し上げましたとおり、平成28年度より多く統計調査を実施することによる増額となっております。

次に、52ページをお開きください。

2款6項1目企画総務費につきましては、7,582万8,000円を計上しており、前年度と比較し1,539万1,000円の増となっております。増額の主な内容といたしましては、53ページの13節委託料、まち・ひと・しごと創造ステーション *t s u m i k i* の運営事業に係る業務委託料など、関連経費を計上したことによるものであります。

次の2目総合交通対策費でございますが、7,684万6,000円を計上しており、前年度と比較し586万4,000円の増となっております。主な内容といたしましては、13節委託料3,237万円ですが、持続可能な公共交通網の形成を図るため地域公共交通網形成計画の策定に係る業務委託料を新規で計上しております。

14節使用料及び賃借料につきましては、町民バス車両の賃貸料など前年度と同額を計上しております。

54ページをお開きください。

19節負担金、補助及び交付金につきましては、2,806万6,000円を計上しており、前年度と比

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

較し325万1,000円の減となっておりますが、ミヤコーバスへの補助金の減額によるものであります。

次の3目国際交流費につきましては、利府町国際交流協会への補助金など前年度と同額の27万9,000円を計上しております。

次に、58ページをお開きください。

6目文化複合施設推進費についてでございますが、7億246万4,000円を計上しており、前年度と比較すると4億1,048万6,000円の増となっております。文化複合施設の整備につきましては、平成29年度の事業として用地買収等々、造成工事に着手する計画としておりまして、これらに関連する予算を計上しております。内容といたしましては、13節委託料1,611万円ですが、土地の価格の鑑定及び建物等の移転や営業等の補償を行うため不動産鑑定及び補償調査業務や工事により損害が生じるおそれのある整備地周辺の建物等を事前に確認するための建物等事前調査業務などを計上しております。

15節工事請負費2億8,470万円につきましては、敷地の造成工事となっております。

59ページをごらんください。

先ほど説明いたしました不動産鑑定及び補償調査業務の結果をもとに、17節公有財産購入費2億7,423万8,000円につきましては整備用地の購入費、22節補償補填及び賠償金9,608万4,000円につきましては移転補償費や営業補償費などを計上しております。

最後に、125ページをお開きください。

10款4項8目図書館建設基金費26万6,000円ですが、図書館建設基金の利子の積立額を計上しております。

以上が政策課に係る当初予算の説明であります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 2点お伺いいたします。

43ページの50周年の記念事業についてですけれども、委託料の中で、こちらの補足説明資料にも一覧が出ておりました。NHKの公開番組事業として425万円というものが計上されております。この43ページの説明では公開番組が業務委託料と機器の設置業務で合計が300万円になって（「総務案件」「遠藤委員、この案件は」の声あり）ごめんなさい。済みません。もう一度やり直します。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

○委員長（吉岡伸二郎君） では、仕切り直しということで、ほかにございませつか。11番吉田委員。

○吉田裕哉委員 それでは、まず41ページ、情報政策費の中で、19節負担金、補助及び交付金で宮城県自治体情報セキュリティクラウド運用という新しい項目が記載されておりますので、もう少し詳しく中身の説明をいただきたいと思ひます。

2点目としまして、52ページから53ページにかけてです。

企画総務費の中で13節委託料ということで、まち・ひと・しごと創造ステーション運営支援等業務委託料などが計上されております。駅前の t s u m i k i ということでございす。具体的にどのような活動内容を運営委託するのか教えていただきたいと思ひます。今、非常に活発に活動されているところなんですけれども、なかなかネットを使えない人にはなかなか理解されていないという状況もありますので、改めて新年度の取り組みしっかり教えていただきたいと思ひます。

あと、3点目は同じく53ページの総合交通対策費の中で地域公共交通会議です。新年度メンバー1人ふやして、回数ふやしてとなるのかなと思ひますので、地域公共交通会議の新年度の動きと人選を教えていただきたいと思ひます。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 当局答弁願ひます。浅野主査。

○政策課政策班主査（浅野智寛君） 11番吉田委員の御質問にお答えいたします。

負担金の宮城県自治体情報セキュリティクラウド運用負担金につきましては、平成27年に日本年金機構の情報漏えい問題がありまして、それを受けて国からさらなるセキュリティー強化に向けた指針というものが出ております。今回のこの事案につきましては、インターネットの接続を県と市町村が協力しまして、宮城県が全市町村のインターネットの出口を集約する形で高度なセキュリティーを確保するというものになっております。これによって24時間365日セキュリティーが監視されるなど、セキュリティーの強化がされるものであります。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 2点目、鎌田班長。

○政策課政策班長（鎌田功紀君） 11番吉田委員の御質問にお答えいたします。

t s u m i k i の運営委託費の関係でございすけれども、t s u m i k i につきましては、昨年11月オープンしてから今までいろいろなセミナーなども実施しながら、徐々にではありま

すけれども利用者も大分ふえてきているというような状況でございます。来年度につきましても今年度行ってきたさまざまな起業・創業のセミナーであるとか、いろいろなイベント、駅前のにぎわいづくりに寄与するようなイベントであるとか、そういったものについても定期的実施していきたいというふうに考えております。委託費についてもここに金額は載せておりませんが、昨年よりは若干減らす形での運営費ということで、その委託をしながら同様の事業を展開していければと考えているところであります。

また、いろいろなインターネットを使っていない方への周知がなかなかできていないのではないかというお話もありましたけれども、いろいろな定期的に、皆様ご承知だと思いますけれども、広報紙であるとか、t s u m i k i の情報紙「つみきのキモチ」というパンフレット機関紙なども発行をしております。それによって大分お客さんもふえてきているというような状況もあります。そのほかラジオであるとか、あるいはこの辺のいろいろな情報紙ありますけれども、そういうところへの投げ込みも積極的に行っておりまして、大分いろいろな各情報紙に取り上げていただいているところでありますので、そういったところもPRをどんどんしながら積極的にPRしていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 3点目、星班長。

○政策課地域協働班長（星 浩幸君） 11番吉田委員の御質問にお答えいたします。

地域公共交通会議の動き、または人選についてでございますが、この会議におきましては平成29年度において地域公共交通網の形成計画の策定を予定していることから、この会議を地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく法定協議会という位置づけをいたしまして運営していきたいと考えております。開催回数については5回を予定しておりまして、委員についてはタクシー協会の代表者、JRから委員を現在委嘱しておりますので、これに加えてこれまでの従前のメンバーを含めて会議を開催していきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） よろしいですか。ほかに。13番及川委員。

○及川智善委員 それでは、①の58ページ、文化複合施設の推進費と予算の説明書32ページでございますが、これの件についてお伺いいたします。

この説明書の説明と若干相違がある、相違というか解釈の相違だと思うんですが、若干お聞きいたします。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

まず、不動産鑑定及び補償調査業務ということで一番先に上がっていますが、今回土地の価格の鑑定と建物の補償調査ということでございますけれども、これの役務、どれぐらいの工期で業者に依頼して、どの期間やるのか。それから対象ですね。工作物とか営業補償の対象について具体的に件数どれぐらいあって、どんな場所、何件ぐらいあるのか教えていただきたいと思っております。

それから、2点目です。

これの平成29年の説明資料のほうでは4項目が載っています。土地の購入及び補償ということの欄があるんですけども、これを土地の購入ということまで入るのかどうか、補償の調査の結果をもとに購入を行うということですが、具体的な行動を起こした場合には予算措置は要するに具体的にできないのかどうかわかりませんが、この項目に対する土地の購入の欄が本書の①のほうにないということがあるので、この辺について。

それから、造成工事については、これはもちろん土地の購入が終わってから造成工事に至るんですが、この説明資料によりますと、平成29年度から入ることになってはいますが、ことし、来年度本当に可能なのかどうか、2年間のスパンを設けてはありますが、平成29年度から造成工事に入るというふうに説明資料としてはあるんですが、この辺について内容の説明をお願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 当局答弁願います。千田班長。

○政策課文化複合施設推進班長（千田耕也君） 13番及川委員の御質問にお答えしたいと思います。

まず、第1点目、不動産鑑定及び補償調査業務委託の工期ですけれども、4月ぐらいから開始しまして、10月ぐらいで完了させたいと考えております。（「対象」の声あり）対象につきましては、まず土地の分につきましては、23人になります。補償関係でございますが、整備地内にある建物、工作物の等の移転や営業等の補償として対象は8件になります。対象者が8名でございます。建物が3棟、あと果樹が植わっておりますので、こちらが3件、附帯工作物が6棟、営業補償が2件でございます。

続きまして、土地購入につきましてですが、この予算説明書の59ページに公有財産購入費、土地購入費ということで計上はさせていただいておりますので、こちらの予算を使って土地を購入していきたいと。（「今の何ページ」の声あり）59ページ、予算説明書59ページ、17款公有財産購入費の土地購入費2億7,423万8,000円、こちらの予算を計上させていただいております。

ので、こちらで土地を購入していきたいと考えております。

次に、造成工事、2カ年またいだ形で造成をしていきたいと考えておりますが、用地交渉につきましては、7月ぐらいから12月ぐらいの6カ月間で用地交渉を行っていきたいと考えております。当然まだ金額を御提示している段階ではないので、こちらの予定どおりの計画で進むかどうかはまだ何とも言えないところではあります。町としては7月から12月の間で何とか用地をまとめていきたいと考えております。そちらの用地購入が終われば造成工事というふうに入りますが、造成工事は約1年間の期間を要することから、年度をまたいで工事をしていきたいと考えておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 及川委員。

○及川智善委員 私はこの土地の購入の話については時間がかかるんじゃないかと思うんですね。根回しができているかどうかはわかりませんが、そんなに簡単な期間でできるのかなど。それから中身の話で、59ページですか、2億7,400万円になっていますけれども、この金額どれぐらいと私聞いたんですが、この土地の購入価格についても予算書に上げているというのちょっと先ほどの質問とは相反するかもしれませんけれども、どうなんですかね。例えば鑑定の価格が専門家の価格が出る前にここに上げておくというのは購入者に対しても、あるいは一般市民、あるいは我々議員に対してもちょっと不可解なところがあるんですが、この辺についてはどういう御見解なんでしょうか。

○委員長（吉岡伸二郎君） 千田班長。

○政策課文化複合施設推進班長（千田耕也君） 13番及川委員の再質問にお答えいたします。

まず1点目、この6カ月間で終わるのかというお話だったと思います。まず、今回土地を購入させていただく用地交渉でございますが、地権者の皆様に税金のかからないような形、5,000万円まで税金がかからないような形にするのに事業認定というものを申請しているんです。租税特別措置法で5,000万円を控除させるためにですが、その5,000万円を控除するためには地権者の相手の方に金額の御提示をしてから6カ月以内に契約をしないと、その5,000万円の控除の特例が受けられないというのがあります。それを踏まえまして、何とか地権者の方たちにも御理解を得ながら6カ月間でやっていきたいというのが趣旨でございます。ですから、時間はまだ当然皆様に金額は御提示しておりませんが、説明会を3回ほどさせていただいておる中で、特に反対するというような御意見は町のほうには寄せられていないところでございます。ただ、

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

金額を提示していない中での御説明会になっておるものですから、何とも全員が全員、その金額でいいよと言ってくれるかどうかはわからない状況ではありますが、何とかその6カ月間の中で土地購入をしていきたいと考えております。

続きまして2点目、公有財産購入費、こちらに金額を載せていいのかというようなことですが、まだ不動産鑑定当然しておりませんので、土地の購入費大体妥当な数字というのがまだ調べているわけではないので、この金額が全てということではございませんが、今買おうとしている面積、そして現状どのぐらいで購入できるかということを推測させていただきまして、今回こちらの金額を計上しているところです。ですから、この金額イコール用地の購入費ということではなくて、この金額の中で間に合わせて用地購入をしていくという形で今回計上させていただいたところでございます。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 及川委員。

○及川智善委員 そうすると、公有財産の購入ということで、2億7,423万8,000円という数字まで出しているんですね。大体の数字しか出ないと思うんですが、8,000円まで、千円単位まで予算は単位千円で書いているからそうだとはいえそうなんでしょうけれども、それを掛け合わせて端数が出たから8,000円という数字が出たかもしれませんけれども、それであればですよ、不動産鑑定士はもう既に調整していると、土地の価格の鑑定士の大体の金額をおおむね鑑定士と相談の上、この不動産の公有財産の購入費をこの金額に上げたということで理解してよろしいですか。

○委員長（吉岡伸二郎君） 千田班長。

○政策課文化複合施設推進班長（千田耕也君） 13番及川委員の再々質問にお答えいたします。

土地購入費でございますが、不動産鑑定士と事前に相談してこの金額を決めたということではなくて、現状町の買い取り、例えば災害公営住宅の地価、買った金額だったりを想定しましてこの金額ということで算定させていただきました。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 課長、一言ありますか。大丈夫ですか。

ほかに質疑ございませんか。関連で、4番小渕委員。

○小渕洋一郎委員 土地購入に関しての関連質問をいたしたいと思います。

先ほどの説明の中で、家屋が3棟ということをおっしゃいましたよね。それは実際に住まれている

るところだと思うんですけども、その方々への代替地等の案はもうお持ちですか。

○委員長（吉岡伸二郎君） 答弁願います。千田班長。

○政策課文化複合施設推進班長（千田耕也君） 4番小淵委員の御質問にお答えいたします。

補償料の分の補償する3棟の分でございますが、特に相手の方側とはまだ交渉も当然していませんが、代替地の要求ということはございませんので、そのまま補償という形で進めさせていくような形で今検討しております。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ございませんか。14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 先ほどはフライングいたしまして失礼いたしました。改めて質問させていただきます。

37ページ、38ページにかけて、町民活動支援費の中で8節の報償費、講師謝礼と男女共同参画推進についてお聞きしたいんですけども、男女共同参画推進については講師謝礼とあと町民会議の委員の謝礼分だけが計上されていると思うんですけども、この点の確認をお願いいたします。

それともう一点は、いつも質問させていただいているんですけど、54ページです。総合交通対策の中でバス停ですね。ベンチ設置がほぼ毎年同じような額が計上されておりますけれども、今回の予算の中で予定される場所と、それからこれによってあと残りは何基ぐらいになるのかをお願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 当局答弁願います。星班長。

○政策課地域協働班長（星 浩幸君） 14番遠藤委員の御質問にお答えいたします。

まず、町民活動支援費の8節報償費についてでございますが、まず講師謝礼につきましては男女共同参画推進に係る講演会並びに公益活動団体研修会、これはおのおの1回ずつを予定しておりますので、この謝礼という金額で計上させていただいております。

あと、町民会議委員謝礼につきましては、平成29年度において男女共同参画基本計画策定していく形で予定しておりますので、これまで1回だったものを2回検討しまして策定に向けていきたいと考えております。

総合交通対策費の中のベンチの設置に関してであります。予定箇所についてでございますが、今のところ菅谷台及び葉山の場所を予定しております。今後の設置計画の中であとどのぐらい残っているかということなんですが、当初の計画では12カ所ということで考えておりまし

て、その中で6カ所つけておりますので、今後6カ所を設置していきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 遠藤委員。

○遠藤紀子委員 まず、男女共同参画のことでお伺いいたしますけれども、政府でも女性の活躍推進とか、男女共同参画、ジェンダーの問題とか、いろいろ国としても本腰を上げ始めているときでございます。この男女共同参画に関してはいつもいつも随分長い間同じような予算が計上されておまして、この男女共同参画の問題というのは非常に大事な問題だと思います。ジェンダー問題としてもそうですし、あるいはDV、ストーカー、大きく含めると貧困問題にまで係る問題でございます。ずっと同じような予算をつけていらっしゃいますけれども、仙台市のほうは活発にこの問題に取りかかって、財団もございまして非常にその差をいつも感じているんですけれども、今こそ大事な問題だと思うんです。1999年ぐらいから始まったことですけれども、利府町としては遅々として進まないなという印象を持っております。これに関してもっと力を入れるべきではないかと思っておりますけれども、その辺り、副町長お考えをお聞かせ願います。

それとバス停ですけれども、私も一般質問いたしまして、20年以上前の総合計画でもバス停全てのバス停にということでした。今のお話ですと残りはあと6基だけで全てのバス停につくんですか。そこをもう一度確認お願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 副町長。

○副町長（伊藤三男君） それではお答え申し上げます。

男女共同参画、もっと町で推進すべきではないかという御質問でございます。

これも今まで推進委員の方々、町民会議、そういうものを開催しながら進めてきたわけです。今、県でこの男女共同参画の基本方針という計画をまとめたというのを聞いております。それを見ながら町でやれるもの、どういうものがあるか、そういうものを精査しながらこれから実施できるものは実施していきたいと考えています。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 星班長。

○政策課地域協働班長（星 浩幸君） 14番遠藤委員の再質問にお答えいたします。

まず、訂正させていただきたいのですが、今後町で考えている設置箇所につきましては、10カ所ということで、先ほど6カ所と申し上げましたが10カ所ということで訂正させていただき

たいと思います。

この町で考えているバス停の設置計画という形ですね、当初考えていたところはまずシェルターが設置されているかどうかという部分と設置に適しているかどうか、どこでもつけられるわけではなくて、道路幅員、歩道幅員がある程度あるところでないといけないということもありますので、そういったもの。あとは、そのバス停が利用見込まれるかどうかという部分、これらを勘案しまして当初の計画では12カ所という形で平成28年度において2カ所設置いたしましたので、今後10カ所という形になっております。

全部のバス停の停留所の数なんですけど、188カ所となっております、今までのベンチ設置数が21カ所ということになっておりますので、全体の設置という部分では11%という形になっておりますが、先ほど申し上げたように全てのバス停にベンチがつけられるというような状況にない場所もありますので、御理解いただければと思います。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 遠藤委員。

○遠藤紀子委員 ぜひ男女共同参画のほうは町ももう少し頑張っていたきたいと思います。

停留所の件ですけれども、188カ所中の21カ所ということで、まだまだ遅々として進みませんし、ベンチをつけるにはいろいろな条件があるということでしたけれども、町が考えているベンチは画一化したベンチではないかと思うんですね。仙台市などでは本当にただちよんと腰をおろすだけの簡単なものとか、全国的に見てもいろいろなベンチが設置されております。これから高齢化社会に向かいます、バスに乗る乗らないは別として、町の中にいろいろとベンチがあるということは、私ども教育民生常任委員会の中で以前水戸市も視察に行ったことがございますけれども、高齢者のためにもやはり少し腰をおろす場所という意味からも私はベンチが必要ではないかと思えます。ぜひ遅々として進まないベンチ設置ですけれども、もう少し力を入れるつもりがないかどうかお答え願います。

○委員長（吉岡伸二郎君） 小幡課長。

○政策課長（小幡純一君） お答えいたします。

バス停のベンチにつきましては、たしか昨年度も遠藤委員さんから御質問があったわけでございますが、やはり早目につけたいという気持ちがございますが、やはり数が多いのと予算の関係もございまして、先ほど班長が申しました設置基準に従いまして進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ございませんか。3番後藤委員。

○後藤 哲委員 38ページ、7目の19節負担金の中で、宮城県青年会館宮城青年婚活サポートセンター補助金4万円。昨年は同じ4万円で宮城県青年会館宮城青少年交流センターと名前が変わりました。この婚活というのはちょっと響きがあって、どういう形で名前が変わって中身も変わったのか、あと、婚活サポートセンターということなので、利府町に対して何かそういう意味合いでメリットとかあるのか、お願いします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 当局答弁願います。星班長。

○政策課地域協働班長（星 浩幸君） 3番後藤委員の御質問にお答えいたします。

名称変更につきましては、やはり今婚活という問題が全国的にも問題になっているということで、よりアピールをするために多分こういった婚活というものをつけたのではないかと考えております。

この業務についてなんですが、ジョイフルふれあいパーティーということで、婚活パーティー、年10回開催しているということと、あとは、お父さん・お母さんの交流会、これを年3回開催しております。あと、移動結婚相談会ということで、例年利府町でも11月ごろに生涯学習センターを活用しまして、そういった相談の場所を設けているということでもあります。そういった事業を実施しているということでありまして、平成27年度のサポートセンターに登録している状況という部分では利府町の方が男性で5名と、あと成婚の状況ということで、平成27年度に親の交流会を通じて利府町の女性1人が成婚に至ったという形でこういった活動をしているということでございます。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 後藤委員。

○後藤 哲委員 今の説明は納得しました。婚活毎年何回か利府でもやっていますということなので、その辺のアピールというのはどの程度やられているんですかね。皆さん知っているんでしょうか。

○委員長（吉岡伸二郎君） 星班長。

○政策課地域協働班長（星 浩幸君） 3番後藤委員の再質問にお答えいたします。

こういった事業につきましては、事業のあるごとに町の広報紙並びにホームページ、そういった形でPRをしているということでございます。

以上でございます。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

○委員長（吉岡伸二郎君） よろしいですか。ほかに。2番西澤委員。

○西澤文久委員 38ページの19節負担金、補助及び交付金の補助金で「十符の里 - 利府」フェスティバルの件についてお聞きします。

昨年フェスティバルでプロの関係の方が何人か参加していますが、ことしもプロの関係の方を呼んでいるのか、何人ぐらい来ていらっしゃるのか。どのぐらいの費用がかかるのかをお聞きします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 星班長。

○政策課地域協働班長（星 浩幸君） 2番西澤委員の御質問にお答えいたします。

今年度につきましても決定ではないんですが、1つは青年向けという形でアイドルグループというものを呼びたいという形にはしたいと思うんですが、この辺の内容につきましては実行委員会を組織しまして、事業運営委員会というもので決定していくような形になりますので、ちょっとその辺は今後詰めていくという形になります。

あと、費用についてということですが、例年こういった形、アイドルグループに対しての謝礼というか、経費ということでは大体3万円を支給しているという形になっております。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） よろしいですか。ほかに。9番高久委員。

○高久時男委員 それでは、2点ほどお願いします。

38ページ、コミュニティセンター管理費の13節委託料、これは昨年より64万8,000円ほどふえているんですけども、その理由をお伺いします。

それと、53ページ、総合交通対策費の13節委託料です。この中で最後に地域公共交通網形成計画策定調査業務委託料という形の項目があるんですけども、金額が載っていないので金額を教えてくださいのと、あとどのような調査を行うのか、その辺の御説明をお願いします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 当局答弁願います。星班長。

○政策課地域協働班長（星 浩幸君） 9番高久委員の御質問にお答えいたします。

まず、第1点目のコミュニティセンターの委託料の増の理由といたしましては、昨年において利用団体である方が利用しなくなったということで、利用料金が大幅に減収したということが生じております。このコミュニティセンターの管理運営につきましては、利用料及び町からの委託料という形で運営しておるものですから、その辺の利用料を勘案しまして委託料の増になっているというようなことでございます。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

地域公共交通網形成計画の金額についてなんですが、これについては、これから契約するに当たって複数業者の中から選定するという形を考えておりますので、ここで金額は明示していないという形になります。

あと、計画の内容についてなんですが、基本方針については計画が目指すべき将来像と、その中で公共交通が目指すべき役割を明確にして取り組みの方向性を定めるという形に対して、その基本方針に対しての目標を設定して、それについての評価計画、それと見直し方針、そういったものを計画に盛り込んでいって事業、そういった内容になっております。

済みません。調査内容ということでありまして、調査内容につきましては地域の現状、あとは問題点を分析して課題を整理するということと、各種の統計資料、または交通データをもとに検証分析、あとは総合計画とか都市マスタープラン、そういった関連計画との連携整理、あとは望ましいネットワークのあり方を検討するということ、そういった中で必要となる事業を考えていくと、あと、収支のバランスを考える、そういったことを踏まえてアクションプランを考えるという形の計画内容となっております。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 高久委員。

○高久時男委員 コミュニティセンターはわかりました。

この総合交通対策で金額がはっきり提示できないという話なんですけれども、総額委託料が金額出ていますから大体1,000万円ほどと推測がつくんですけれども、大体そんなものですよ。それと、基本方針とか現状の分析、あと課題とかというものを調査項目に挙げているんですけれども、この辺の内容というのは我々も委員会で提言させてもらっていますけれども、ある程度感覚的なものもあるわけですよ。細かい資料とか、例えば町の交通弱者、高齢者の配置とか、分布図とか、それと現状の公共交通網というものを比較勘案しながら提言をさせていただいているんですけれども、まだ我々委員会よりは町当局のほうがそういったデータのものの基礎は多くお持ちのはずなので、それを踏まえて考えれば今おっしゃったような内容は町独自にある程度分析できるのではないかなと考えております。その辺いかがでしょうか。

○委員長（吉岡伸二郎君） 星班長。

○政策課地域協働班長（星 浩幸君） 9番高久委員の再質問にお答えいたします。

町としても詳しいデータというのは持ってはおりますが、なかなか分析という形、あとはこれを考えているのは町の総合交通対策という位置づけてネットワークを町内のネットワークを

築いていきたいというような考えもあるものですから、そういった部分を考慮いたしますと、ちょっと町の職員だけでこういったものをつくっていくというのはなかなか難しいという形で委託してこういった計画を策定していくというような形に考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 高久委員。

○高久時男委員 とりあえず1,000万円ほど費用的にかかるわけですが、今おっしゃったような内容の分析というのはさほど時間がかかる内容ではないと思うんですよ。

あと、ネットワークという話なんですけど、どういうネットワークを今想定しておりますか。

○委員長（吉岡伸二郎君） 星班長。

○政策課地域協働班長（星 浩幸君） 9番高久委員の御質問にお答えいたします。

現在、町内の公共交通と申しますと、鉄道とか、路線バスとか、町民バスが基本になってくるわけなんですけど、そのほかに民間のショッピングバスとか、またはスクールバスとか、また送迎バスとか、いろいろなバスが走っていると思います。路線が重複して走っていると、おの目的を持って走っているというわけでありますが、効率的にこれらを踏まえて公共交通を持続可能な形で築いていく上ではやっぱり綿密にその辺を検討しなければならないのではないかとこの部分とある程度専門家、そういった形、あるいは交通事業者の意見を聞いて、そういったものを構築していくという必要性があるというような考えのもと、こういった計画を策定するというふうに考えているところでございます。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ございませんか。11番吉田委員。

○吉田裕哉委員 2巡目です。58ページ、文化複合施設推進費について3点ほどお尋ねいたします。

まず、推進費7億円のうち、財源内訳として国県支出金8,841万円なんですけれども、説明書①の14ページの土木費国庫補助金ですと1億円以上交付金が入ってきているんですけれども、これは利府中前道路整備も含めての交付金であるのかなと思いますので、ちょっと文化複合施設推進費、58ページに戻りまして、その中の国県支出金についての説明を詳細にお願いしたいと思います。

先ほど予算書のほうでも説明ありましたが、予算説明書①の141ページ、継続費のところでもお尋ねしたいんですけれども、継続費として見ますと、4カ年で平成32年度までで36億円とな

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

っておりますが、そのうち財源内訳が7.4億円程度と、国県支出金の割合が7.4億円ということで、計画当初、1期、2期とやる前は国・県からの補助が4割というの見込んでいたのが1期、2期に分離しまして減ってと、今の段階では36億円の第1期事業のうち、2割程度しか国・県の補助は見込めないという認識でよろしいのかお尋ねいたします。

あと、さらにまだ実施設計段階ですので、この辺の金銭的な面で変動とかはあるのかどうかもお尋ねいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 当局答弁願います。千田班長。

○政策課文化複合施設推進班長（千田耕也君） 11番吉田委員の御質問にお答えいたします。

58ページ、国県支出金8,841万円、歳入の14ページ、5目の土木費国庫補助金の一番下のところに書いてある新太子堂地区都市再生整備計画事業費交付金1億436万円、こちらと違うのではないかということですが、吉田委員が言われたとおり、文化複合分につきましては8,841万円、こちらの歳出に書いている国県支出金のとおりでございます。残り1,595万円でございますが、こちらは道路整備費に充てる形になります。

続きまして、141ページの文化複合施設整備事業継続費の中の国県支出金、今2割ではないのかというお話でございますが、都市再生整備計画事業については交付対象事業費と交付対象ではない事業費というものがあります。今第1期で申請している部分につきましては、文化複合施設第1期分で対象にならない部分については図書館の部分に当たります。建物の面積割合でおよそ6対4ぐらいの割合で6割が対象になる部分、公民館部分だったり、小ホールだったりする部分、残り4割の部分が図書館の部分というふうになります。この図書館の部分につきましては、都市再生整備計画事業の対象から外れておりますので、この部分についての4割は来ていないという形になります。総額事業費から見ると約2割というお話がありましたが、今交付対象事業費からすると4割という形になりますので、その辺御了承いただければと思います。あと、現在実施設計を策定している最中でございます。基本設計ができて、およその金額はできておりますが、今実施設計で詳細に積み上げをしているところでございます。金額が議会にお示ししている金額を超えないように今実施設計も策定してもらっている段階でございますので、金額多少変更はあるものの、何とかこの金額の枠内で収めていきたいという形で今計画をしているところでございます。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 吉田委員。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

○吉田裕哉委員 改めて実施設計5月末でしたか、きのう、おとといでしたか、5月末ぐらいというような話がありまして、あと先ほど質疑で不動産鑑定が4月から10月と、用地交渉が7月から12月とありましたので、ちょっと文化複合施設、改めてちょっとしっかり実施設計が終わった段階で我々議会に対しても説明する機会を設けていただきたいと思いますと考えておりますが、その辺を課長ぜひお答えいただきたいと思います。

あと、財源につきましても、しっかり町民にも説明する機会を何かしら設けていくということが必要だと考えますが、その辺いかがでしょうか。事業費につきましても、実施設計が終わって以降、町民にしっかり説明する機会を設けていただきたいと思いますと考えております。その辺いかがでしょうか。お尋ねします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 小幡課長。

○政策課長（小幡純一君） お答え申し上げます。

実施設計の説明というお話なんですけど、予定では5月末を予定しておりますので、実施設計が出た段階で議員の皆様方にはお示ししたいと思っております。

また、町民の方々への御説明ということでございますが、地権者なり、そういった方々には説明しながらやろうかと思っておりますが、一般の住民の方々には基本設計のときでもやったように、町の町民交流館なり生涯学習センターのほうに掲げましてお示ししたいと考えております。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 質疑がありませんので、以上で政策課の予算審査を終わります。

御苦労さまでした。

当局は退席願います。

それでは、ここで暫時休憩といたします。再開は10時55分とします。

午前10時43分 休憩

午前10時55分 再開

○委員長（吉岡伸二郎君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、審査日程表により総務課の予算審査を始めます。

内容の説明に先立ち、総務課長より本日出席している説明員の紹介を願います。総務課長。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

○総務課長（折笠浩幸君） お疲れさまです。それでは、本日出席をしております総務課の職員を紹介いたします。

初めに、総務管理班長兼人事法令班長の後藤 仁でございます。（「後藤です。よろしくお願ひします」の声あり）

次に、人事法令班主幹の藤岡章夫でございます。（「藤岡です。よろしくお願ひします」の声あり）

次に、総務管理班主幹の千葉友弥でございます。（「千葉です。よろしくお願ひいたします」の声あり）

次に、人事法令班主任主査の小野寺厚人でございます。（「小野寺です。よろしくお願ひします」の声あり）

最後に、私、総務課長の折笠浩幸でございます。よろしくお願ひいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に、所管事項の内容の説明を願ひます。総務課長。

○総務課長（折笠浩幸君） それでは、平成29年度利府町一般会計予算における総務課の所管事業について、利府町各種会計予算説明書①に基づきまして御説明申し上げます。

説明に当たりましては、主な内容、そして前年度と違う点を中心に説明させていただきます。

初めに、歳入予算の主な内容について説明いたします。

20ページをお開き願ひます。

16款3項1目総務費委託金3節県政だより配布委託金66万3,000円。そして、26ページをお願ひします。21款5項3目8節雑入、ここの中で宮城県市町村振興協会研修助成金34万5,000円。そして、非常勤職員等雇用保険料59万9,000円となっておりますが、これにつきましては前年度同様の内容での計上としております。

続きまして、歳出予算の主な内容につきまして説明いたします。

29ページをお願ひいたします。

2款1項1目一般管理費に計上しております総務課の事業内容としましては、人事管理業務を初め、職員研修、福利厚生、法令業務、文書発送、秘書業務、及び広報紙発行等に要する経費でございます。

前年度と比較しますと、164万5,000円の減となっており、2億7,505万9,000円を計上しております。

1節報酬534万2,000円の内訳につきましては、記載しているとおり、産業医2名分、こちら

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

は内科と精神科の医師となります。非常勤5名につきましては、庁舎総合案内3名分と障害者雇用に係る非常勤職員2名、合計5名分を計上しております。そのほかは記載の委員等となっております。

2節給料から4節共済費までは、町長及び副町長の特別職、総務課一般職員に係る人件費等を計上しております。

29ページ、給料の一番下に記載しています一般職24名分とありますが、こちらにつきましては、総務課配置職員12名、このほかに宮城県などへの派遣職員2名、あと配属先がまだ決定していない4月1日付の新規採用職員7名、それと新規での再任用職員3名分を含んでおりまして、合計で24名分の計上をしているところでございます。

31ページをお願いいたします。

7節の賃金2,046万6,000円につきましては、25名分の計上としております。内訳としましては育児休業の代替職員、これが6名分、窓口や税の申告時期等の業務繁忙時期における事務補助等の臨時職員として19名分、合計の25名分の計上をしているところでございます。なお、臨時職員の単価につきましては、前回と変わらないんですが、現行780円、1時間当たり、これを平成29年度は800円と20円の増ということで改正しているところで計上してございます。

13節委託料でございますが、このうち職員健康診断業務委託料、こちらにつきましては臨時非常勤職員を含めまして年齢に応じて人間ドッグ、脳健診、健康診断を実施するというところで605万円を計上しているものでございます。

32ページをお願いいたします。

委託料の続きでございますが、この一番下、職員ストレスチェック等業務委託料。こちらにつきましては、昨年4月から施行された改正労働安全衛生法に基づきまして、全職員を対象に年に2回の実施を予定しているというものでございます。

19節負担金、補助及び交付金2,311万6,000円につきましては、前年度と比較して541万3,000円の減となっております。この主な理由といたしましては、この説明欄の一番最後の行に記載しております災害派遣職員負担金でございます。前年度と比較しまして570万4,000円ほど減となっているものでございます。これにつきましては、宮城県から技術職として任期つきで派遣いただいている職員人件費としての負担金となっております。町長の施政方針にもありましたけれども、復興事業の進捗状況に合わせましてということで、現在4名の派遣職員おりますが、平成29年度は1名減の3人となるというところでの減という内容でございます。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

続きまして、42ページをお願いいたします。

2款1項15目町制施行50周年記念事業費につきましては、42ページから43ページ19節負担金、補助及び交付金までということになってございます。内容の詳細につきましては、別冊でお配りしています平成29年度当初予算関係補足説明資料の26ページをごらんいただきたいと思います。

この補足説明資料の中でございますが、50周年を祝う記念事業としましてナンバー1の記念式典事業、これを初めとしましてイベントや講演会、各種大会等の特別講演や協賛事業、そしてナンバー12の地域消費生活・震災復興支援事業としての2割増し商品券の発行事業まで記載している12の事業について大人から子供までが広くかかわることができる事業を予定しているというものでございます。

各種事業の所管する部署は、表の右側に記載しているとおりでございます。このうち総務課が所管する事業として、まずナンバー1の記念式典事業でございますが、町制施行日の10月1日に総合体育館を会場に予定しているというものでございます。この式典におきましては、町政特別功労者等の表彰、または記念講演等を予定しているというものでございます。また、災害応援協定を締結している清水町、七飯町、こちらの招待も含めた式典に係る経費として566万4,000円を計上しているというものでございます。

次に、ナンバー2のNHK公開番組についてでございますが、これはNHKのラジオ公開番組、番組名が「ふるさと自慢うた自慢」という番組でございますが、5月26日金曜日に利府町で開催することが既に決定しております。当日はゲスト歌手2組をリーダーとしまして、地域の男性、女性の各グループが対抗で地元のよさを自慢し合い、カラオケで歌を競う、こういったプログラムとなっております。あとは、ゲスト歌手のステージショーなども予定されておりまして、全国放送の番組となっております。これに係る予算としましては、収録において必要となる舞台装置、照明機器等の設置業務委託料など、合計で425万円を計上しているというものでございます。

なお、町の予算を伴いませんが、民間企業の協賛、広告によりまして本町50年の歩みと町の情報等を掲載した町勢要覧「暮らしの便利帳」、こちらの作成が現在進められております。これにつきましては、10月ごろ全戸に配布する予定となっておりますというところで、これを申し添えたいと思います。

以上が総務課所管の当初予算の説明でございます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

す。

○委員長（吉岡伸二郎君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 先ほど間違えた点を改めて質問させていただきます。

42ページの町制施行50周年記念のNHK公開番組ということで、いろいろなところで町長もこの話をなさってしまっていて、ただ非常に300万円ぐらい経費がかかるんだよというお話をなさっておりました。結局事業費として425万円かかるんですが、43ページの委託料の中で公開番組の舞台装置の業務委託と照明器具の両方で300万円。あと、どれにこの番組としてはかかるんでしょうか。お願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 千葉主幹。

○総務課総務管理班主幹（千葉友弥君） 14番遠藤委員の御質問にお答えします。

300万円引くと残りの125万円ですね。そちらにつきましては、観覧者の応募が郵送で応募が来るんですけれども、その返信用はがきの印刷代がまず1つあります。もう一つは出演者の控室の備品等も合わせて計上してございます。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 遠藤委員。

○遠藤紀子委員 初めにのど自慢と聞いたときは、もちろん40周年でテレビのNHKのど自慢が行われました。皆さんはこれだと思っていたと思うんですが、ラジオ番組と聞いて皆さんびっくりしたんですけれども、ラジオに利府町の50周年で、40周年にテレビで大々的にやったのに今度はラジオなのという声が聞こえております。これだけの425万円かけるだけのことがあるのかしらと素朴に思ってしまいますが、40周年のときのテレビ番組はどの程度の事業費がかかったんでしょうか。

○委員長（吉岡伸二郎君） 後藤班長。

○総務課総務管理班長兼人事法令班長（後藤 仁君） 再質問にお答えいたします。

NHKのど自慢、テレビ番組のほうなんですけど、実はこちらの調整も事前に進めておりました。ただ、町の町長選が開催されるということがあってNHKののど自慢のほうは開催できないという旨の通告を受けておりました。

それから、40周年記念事業、のど自慢のときの経費、それから今回のふるさと自慢の経費、舞台装置なんかは同じようなセッティングをするということで進めております。経費は40

周年の記念事業の経費を参考に今回計上させていただいております。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 遠藤委員。

○遠藤紀子委員 ゲストの方もいらっしゃるのでしょうか、町民は喜んでもらえると思いますが、ただ5月26日ですか、これが開催される。非常にせっぱ詰まっていると思うんですけども、この辺の町民への、広報紙には載っていたと思いますけれども、今の予算のお話ですと往復はがきですか、あれによって募集したりとか、非常にタイトなスケジュールだと思うんですが、そこら辺は大丈夫でしょうか。

○委員長（吉岡伸二郎君） 千葉主幹。

○総務課総務管理班主幹（千葉友弥君） それでは、再質問にお答えいたします。

まず、広報紙は4月号の広報紙に掲載する予定として今調整しております。

そのスケジュールがタイトということなんですけれども、実際「ふるさと自慢うた自慢」、こちらが決定したのがつい最近というんでしょうか、2月10日にNHKから開催できますという決定通知をいただきました。それから調整ということになりますので、確かにタイトではあるんですけども、4月の頭にまずはNHKの担当者等と会場の下見をしたり、あとは往復はがきでの応募につきましては4月下旬ぐらいを予定しております。そこから観覧者を決定して観覧される方に返信のはがきを送るという予定になっているところです。確かにタイトなんですけれども、そこは26日開催というのは決まっていますので、一同頑張っていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ございませんか。10番鈴木委員。

○鈴木忠美委員 1件だけお伺ひいたします。

32ページ、13節委託料の中で職員ストレスチェックの業務委託というのがございます。昨年これは労働安全衛生法に基づいてということで、去年も計上して、去年は約100万円ということをやっております。ことしはその半分ということなんですけれども、大体これを行った中でこれにどれぐらいの方がこれを受けて、その効果はどうなのか、そしてことしは半分にしたというのは何か理由はあるのか、その辺をお聞きいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 藤岡主幹。

○総務課人事法令班主幹（藤岡章夫君） 10番鈴木委員の御質問にお答えします。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

ストレスチェック業務委託料でございますが、こちらは今年度は2回を計上して100万円としたところでございますが、見積もり競争した結果、この程度の金額でできるということで平成29年度もこの金額を見込んで計上しております。

なお、全職員にやっております、全職員の内容につきましては組織ごとの内容を総務課で確認して分析して、さらにはストレスが高い職員につきましては、先ほど課長説明しました産業医の精神科の先生のほうにつないでメンタルのチェックをしているという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 鈴木委員。

○鈴木忠美委員 今、先ほどの説明の中でもことは2回予定ということで聞いていますけれども、そうすると去年の100万円というのは、平成28年度はどんな感じだったんでしょうか。今の結果については、いろいろ問題あったときは産業医の先生とか、いろいろありますけれども、平成28年度はどれぐらいの回数をやられたんですか。

○委員長（吉岡伸二郎君） 後藤班長。

○総務課総務管理班長兼人事法令班長（後藤 仁君） 再質問にお答えいたします。

平成28年度も2回のストレスチェックを実施しております。平成29年度の当初予算にも同じく2回分を計上しているというものでございます。繰り返しになりますが、平成28年度実施する際に見積もり競争入札をしております、その中で50万円以内の請負があったということで平成29年度も同額を計上しているというものでございます。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに。11番吉田委員。

○吉田裕哉委員 先ほどもありました42ページの町制施行50周年記念事業費につきまして、2点お尋ねいたします。

まず、事業費4,230万円の財源内訳記載されております。もう少し詳細に国県支出金とその他のほう、所管異なるのかもしれませんが、財源内訳を教えてくださいと思います。

あと、19節で特別協賛事業として街道まつりというものがあります。

新聞でも報道されておりますのですが、改めて町が把握している内容と取り組みと、あと特別協賛ということし限りということになるのか、その補助の出し方といいますか、その辺の説明をお願いいたします。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 当局答弁願います。折笠課長。

○総務課長（折笠浩幸君） 11番吉田委員の1点目の御質問にお答えいたします。

町制施行50周年記念事業の財源内訳というところでございますが、まずその他の財源なんです、復興基金、復興交付金の事業につくものではなくて、町で積んでいる復興交付金基金を充当するというところでございます。こちらはきのう財務課長からも説明ありましたが、プレミアム商品券に復興支援事業というところでこの交付金を充当するというところがございます。あと、国県支出金につきましては、図書関係の講演会も予定してまして、その県からの補助金というところとなっております。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 藤岡主幹。

○総務課人事法令班主幹（藤岡章夫君） 吉田委員の御質問にお答えします。

2点目の利府街道まつりの現在の内容状況ということでございますが、利府街道まつりにつきましては現在実行委員会を組織して、責任団体が花園まちづくり記念財団というところで実施しているという状況です。具体的な内容につきましては、今月末に全戸配布予定するパンフレットに記載して、さらに来月号、4月の広報りふにも掲載して町民にお知らせするというのを聞いております。内容につきましては、子供たちによる灯籠の設置とか、山車の巡行、子供会関係と連携した内容で聞いております。

事業費の50万円につきましては、今年度の50周年記念事業ということで、今年度限りで平成29年度当初予算に計上しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） よろしいですか。（「関連」の声あり）関連で。及川委員。

○及川智善委員 今の町制施行50周年関連なんです、先ほど1番について課長から御説明があったんですけども、招待として清水町と七飯町からゲストとして招聘するという事なんです、この42ページに旅費として13万2,000円載っているのも多分この中に含まれているものと思われ、この旅費というのは全部その招聘の方々の分なのか、その内容をこのほかに別な行事に係るゲストの方の旅費も含まれているのか、この内容について御説明をお願いします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 後藤班長。

○総務課総務管理班長兼人事法令班長（後藤 仁君） 13番及川委員の御質問にお答えいたしま

す。

50周年記念事業に計上している旅費13万2,000円につきましては、清水町、それから七飯町からの旅費は含まれておりません。原則利府町まではそれぞれの旅費の負担でもって来ていただくというような調整を進めたいと思っています。こちらに載っている旅費は、表彰審査会等々の費用弁償を計上しております。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） よろしいですか。（「1回だけなので、関連」の声あり）関連ですね。ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 質疑がありませんので、以上で総務課の予算審査を終わります。

御苦労さまでした。

当局は退席願います。

ここで暫時休憩をとります。再開は11時25分とします。

午前11時20分 休憩

午前11時25分 再開

○委員長（吉岡伸二郎君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、審査日程表により都市整備課の予算審査を始めます。

内容の説明に先立ち、都市整備課長より本日出席している説明員の紹介を願います。都市整備課長。

○都市整備課長（櫻井昭彦君） お疲れさまでございます。それでは、本日出席しております都市整備課の説明員を御紹介いたします。

まず初めに、施設管理班の職員です。

施設管理班長の庄司英夫でございます。（「庄司です。よろしく申し上げます」の声あり）

主幹の村田 晃です。（「村田です。よろしく申し上げます」の声あり）

同じく主幹の大野尊行です。（「大野です。よろしく申し上げます」の声あり）

主査の内田健一です。（「内田です。よろしく申し上げます」の声あり）

同じく主査の赤間崇光です。（「赤間です。よろしく願います」の声あり）

続きまして、都市整備班の職員です。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

都市整備班長の上野昭博です。（「上野です。よろしく願いいたします」の声あり）

主幹の鈴木光昭です。（「鈴木です。よろしく願いいたします」の声あり）

主任技術主査の佐藤真文です。（「佐藤です。よろしく願いいたします」の声あり）

主査の鈴木崇裕です。（「鈴木でございます。よろしく願いいたします」の声あり）

最後に、私、都市整備課長の櫻井昭彦です。どうぞよろしくお願い致します。

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に、所管事項の内容の説明をお願いします。都市整備課長。

○都市整備課長（櫻井昭彦君） それでは、都市整備課所管の平成29年度利府町一般会計予算の内容につきまして、利府町各種会計予算書、予算説明書①及び別冊の当初予算関係補足説明資料に基づきまして御説明申し上げます。

初めに、各種会計予算書、薄いほうの冊子になります。

9ページをお開きください。

第3表債務負担行為のうち、下から2番目の漁港指定管理事業であります。浜田・須賀漁港の管理につきまして、専門的な知識を要することから、管理条例の規定に基づきまして民間のノウハウを活用することにしており、ことし10月から導入するものであります。期間及び限度額につきましては、平成34年度末までの66カ月間で1,423万7,000円となっております。

次に、予算説明書①によりまして歳入から御説明いたします。

10ページをお開き願います。

14款1項3目農林水産業使用料2節漁港使用料214万3,000円につきましては、漁港条例の改正に伴いまして徴収することとなりましたプレジャーボート等の泊地使用料を計上したことから、大幅な増となっております。今年度分の使用料につきましては、10月から翌年3月までの半年分で、算定に当たりましては船舶の長さ1メートル当たり600円を徴収することとしております。

4目土木使用料1節道路橋梁使用料459万円につきましては、道路法に基づく電力柱や電話柱の占用料であります。

2節自動車駐車場使用料3,066万円につきましては、前年度対比64万2,000円、2.1%の増を見込んでおります。

3節都市公園使用料13万5,000円につきましては、都市公園区域内の電力・電話柱の占用料であります。

7節住宅使用料6,045万9,000円につきましては、災害公営住宅を含めた町営住宅150戸と定住

促進住宅80戸の家賃及び駐車場使用料であります。

8節につきましては、同じく家賃、駐車場使用料の滞納繰越分であります。

9節行政財産使用料725万7,000円につきましては、公衆用道路等や緑地等の電力・電話柱の使用料であります。

14ページをお開き願います。

15款2項4目農林水産業費国庫補助金1節水産物供給基盤機能保全事業補助金1,258万7,000円につきましては、浜田・須賀漁港の機能を保全をするための計画策定に対する補助金であります。補助率は2分の1であります。

5目土木費国庫補助金1節社会資本整備総合交付金2億2,106万8,000円につきましては、国からの道路等の社会資本の整備に対する交付金であります。都市整備課で所管しますのは、新砂押迎東浦線道路改良事業費交付金から、高嶋交差点改良事業費交付金までの8事業の交付金であります。事業の内容につきましては後ほど歳出のほうで御説明いたします。

19ページをお開き願います。

16款2項6目土木費県補助金2節木造住宅震災対策事業費補助金105万円につきましては、木造住宅の耐震診断及びその診断結果に基づく改修工事に対する補助金であります。

次に、歳出について御説明申し上げます。

それでは、76ページをお開き願います。

3款2項9目児童遊園管理費163万7,000円につきましては、町内9カ所の児童遊園の管理費に係る経費であります。前年度とほぼ同額の計上となっております。主な内容につきましては、遊具点検業務や遊具の維持修繕業務であります。

次に、90ページをお開き願います。

6款3項2目漁港管理費4,897万9,000円につきましては、浜田及び須賀漁港の維持管理に要する経費であります。前年対比4,805万6,000円の大幅な増となっております。増額の理由につきましては、歳入でも御説明しましたとおり、10月から開始いたします漁港管理の指定管理制度に伴う関連経費や13節委託料に漁港機能保全計画策定業務委託料を計上したことによるものであります。

次に、94ページをお開き願います。

8款1項1目土木総務費2,718万6,000円につきましては、主に施設管理班の職員人件費であります。前年度と対比しまして、920万4,000円、25.3%の減となっております。減額の主な理

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

由につきましては、職員人件費1名分を住宅管理費へ組み替えしたことによるものであります。

次に、95ページをごらんください。

2項1目道路維持費2億3,148万8,000円につきましては、町道及び生活道路の維持管理に要する経費であります。前年度と比較しまして、2,647万6,000円、10.3%の減額となっております。減額の主な理由につきましては、昨年度まで実施しておりました在加瀬線舗装補修工事や、西笠菅沢1号線道路整備工事が完了したことによるものであります。本年度につきましては引き続き沢乙1号線ほか舗装補修工事を継続して実施するとともに町内全域の町道及び生活道路の維持修繕に努めていくこととしております。

主な事業の概要につきましては、後ほど御説明いたします。

次に96ページをお願いします。

2目道路新設改良費4億3,621万5,000円につきましては、町道などの新設改良を行うための経費であります。前年度と比較しまして、7,406万3,000円、14.5%の減となっております。減額の主な理由につきましては、平成24年度から実施してまいりました新砂押迎東浦線道路改良事業について、今年度が最終の整備年度となり、完成に向けて事業規模が縮小したことによるものであります。その他の主要な事業の概要につきましては後ほど関係資料で御説明いたします。

次に、98ページをお開き願います。

3目自動車等駐車場管理費1,699万1,000円につきましては、利府駅自動車駐車場と駐輪場の維持管理に要する経費であります。前年度と比較しまして、82万1,000円、5.1%の増額となっております。増額の主な理由につきましては、駐車場の環境改善のために昨年12月から導入いたしました高額紙幣対応事前精算機賃借料に伴うものであります。

主な事業につきましては、13節委託料の自転車等駐車場管理業務委託料や町営駐車場管理業務委託料、14節使用料及び賃借料の町営駐車場借地料であります。

99ページをごらんください。

4項1目都市計画総務費4,004万円につきましては、前年度と比較しまして、6,737万9,000円の大幅な減額となっております。減額の主な理由につきましては、仙塩地区2市3町で共同作成する都市計画図の作成業務が完了したことによるものであります。

その他の主な事業としましては、100ページをお開きください。

13節委託料の木造住宅耐震診断助成事業業務委託料につきましては、昭和56年5月以前の家

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

屋を対象とした事業で、所有者の申請に基づいて耐震診断を実施するものであります。診断の家屋数は10戸分を見込んでおります。

その下の都市マスタープラン改訂業務委託料及び国土利用計画改訂業務委託料につきましては、それぞれの計画年度は平成23年度から平成32年度までの10年間となっておりますが、計画期間が半ばを迎えた現時点におきまして、計画策定時と比較しまして土地利用の状況が変化していることや本年度実施いたします第7回線引き見直しに関する内容を盛り込むために改訂を行うものであります。

同じく浜田・須賀地区法定図書作成業務委託料につきましては、浜田・須賀地区の地区計画制度を活用した地域活性化を推進するための法定図書作成業務であります。

19節負担金、補助及び交付金の補助金、木造住宅耐震改修工事助成事業につきましては、13節の耐震診断に基づく4件分の改修工事を見込んでおります。平成29年度につきましては、助成限度額がこれまでの55万円から122万2,000円に引き上げられたことから、大幅な増額となっております。

次に、101ページをお開き願います。

3目公園管理費5,031万3,000円につきましては、館山公園外町内67カ所の公園及び緑地の維持管理に要する経費であります。前年度と比較しまして、1,424万9,000円、22.1%の減となっております。減額の主な理由につきましては、館山公園駐車場整備事業の完了に伴う減額であります。

主な事業につきましては、13節委託料であります。町内の公園及び緑地の遊具点検、除草及び植栽剪定の業務委託で、継続的に実施している維持管理業務であります。

次に、102ページをごらんください。

5項1目住宅管理費につきましては、災害公営住宅を含めました町営住宅と定住促進住宅の維持管理に要する経費であります。前年度と比較しまして、1,248万6,000円、31.2%の増となっております。増額の主な理由につきましては、葉山住宅とゆのき住宅を除く住宅の火災報知器を更新するための備品購入費及び職員人件費の増によるものであります。

主な事業であります。103ページ、13節委託料シルバーハウジング生活援助等業務委託料につきましては、町営住宅に入居している高齢者の生活援助業務であります。同じく定住促進住宅施設管理等業務委託料につきましては、定住促進住宅80戸の維持管理を含めた総合的な管理業務であります。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

15節工事請負費につきましては、主に住宅入居者が退去する際に実施いたします空き家補修工事であります。

以上が予算説明書の内容であります。

次に、工事及び業務委託関係の主な事業につきまして、別冊の当初予算関係補足説明資料に基づきまして御説明いたします。

資料の55ページから62ページが都市計画の所管分になりますが、56ページをお開き願います。

2の漁港管理事業でございますが、漁港指定管理業務委託につきましては、予算書でも御説明しました10月から開始いたします浜田・須賀地区漁港の指定管理業務であります。

次の漁港機能保全計画策定業務委託につきましては、水産庁の水産物供給基盤機能保全事業を活用して浜田・須賀漁港の長寿命化、老朽化対策を行うための計画策定を行うものであります。

漁港管理事務所建築工事につきましては、浜田漁港に指定管理者を配置するための事務所を建築するものであります。

次に、3の道路維持事業でございますが、除雪・融雪剤散布等業務委託から7番目のしらかし台16-1号線外植栽剪定等業務委託につきましては、毎年継続して実施しております道路維持に係る各種業務委託でございます。

次に、道路橋梁点検業務委託につきましては、町内を通る三陸自動車道や主要県道に係る町で管理する3つの橋梁の長寿命化を図るために実施するものであります。

次に、沢乙1号線外舗装補修工事につきましては継続事業となりますが、前年度完了区間である沢乙字大沢西地内から北側に300メートルを予定しております。

次に、4の道路新設改良事業のうち、新砂押迎東浦線道路改良工事につきましては、新幹線高架橋の剝落対策工事をJR東日本株式会社に委託するとともに、延長659メートルの舗装工事を予定しております。

次の高嶋交差点改良工事につきましては、右折レーンの新設を含む施工延長240メートルの交差点改良工事であります。

次に、南町河原線道路改良工事につきましては、幅員6メートル、施工延長338メートルの整備工事であります。

なお、ただいま御説明した3つの事業につきましては、平成29年度で整備が完了する予定となっております。

次に、利府中学校前線外道路改良工事につきましては、施工延長265メートルの盛り土工事となっております。

次の森郷新太子堂地内生活道路整備事業及びその次の仲町浦線道路整備事業につきましては、新太子堂地区の地区計画関連の新たな事業となりますが、道路詳細設計と用地買収を予定しております。

そのほかの主な工事や業務委託の予定箇所につきましては、58ページから62ページに掲載しておりますので、ごらんいただきたいと思っております。

以上で、都市整備課所管の説明を終わります。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。13番及川委員。

○及川智善委員 それでは、10ページの自動車駐車場使用料ということで、収入の面です。3,066万円の収入を見積もりしていますけれども、先ほど課長の御説明によりますと、去年より64万2,000円増収見込みということでございます。確かに去年の7月に料金改定したということで、その分の掛け合わせた分かなと思っておりますが、この64万2,000円という数字がどこから出てきたのか。それから、もう一つは改定での効果、目的が達成されているのか、そういう利用料の面から去年の改定の条例を出したときに駅前の混雑緩和と町営駐車場の効率的な執行という、その2点について、そういう着眼点から改定したいということでしたが、その効果についてもお伺いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 当局答弁願います。庄司班長。

○都市整備課施設管理班長（庄司英夫君） 13番及川委員の御質問にお答えします。

64万2,000円の増につきましては、去年1年間の使用料で4月から6月分を除いて7月から料金改定した分の月平均の使用料を出しまして、それで算定した結果、昨年の当初予算と比較し増額になったものでございます。

あと、目的が達成されているかという御質問でございますが、町営駐車場料金改定してからそれ以前は満車になるときがありまして、とめることができないというような状況でございましたが、料金改定後は一度も満車状態になったことはなく、スムーズに利用できているというような内容でございます。

駅前周辺の混雑緩和がされたのかということでございますが、ある程度電車の到着時刻につきましては混雑されている状況ではございますが、30分以内無料ということで料金改定してお

ります。その結果を見ますと、かなりの台数の利用があるということで、30分無料という設定も効果があったものと考えております。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 及川委員。

○及川智善委員 使用料、実績7月上旬上げた分に掛け合わせてということですが、当然ながら料金改定イコール値上げだったわけですね。値上げしているということで今スムーズに町営駐車場に満車状態がないという目的が達成されていますが、利用する方の単価は恐らくはね上がっているのではないかと思いますけれども、それと小淵さんも一般質問で出している中で中身は余り触れませんが、この件について苦情等、町民の声はなかったのかどうか、その辺だけお尋ねいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 庄司班長。

○都市整備課施設管理班長（庄司英夫君） 及川委員の再質問にお答えします。

料金改定後は料金が急に上がったということで多少の混乱はございました。あと、苦情の問い合わせ等もございました。その後落ちついたといいますか、逆に駐車場が利用しやすくなったという御意見もいただいております。

料金設定につきましては、今まで1日200円という低料金で御利用いただいていた方が急に400円ぐらいですか、12時間とめますと400円になると、倍になるということで、そういった生活を圧迫するという内容の苦情もいただいております。ただ、そういった内容をそのままにすることなく、内部でもどのようにしたらいいかという検討はしておりますが、料金改定からまだ1年もたっていない状況でございます。その空き状況を勘案しながら何か対策ができるかどうかというものを今後考えていきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ありませんか。1番鈴木委員。

○鈴木晴子委員 2件お伺いいたします。

まず、77ページ、3款2項9目児童遊園管理費の委託料の部分と工事請負費なんですが、50万円ということで、5カ所というところだったんですが、昨年は何カ所との記載はなかったんですけれども、今回5カ所となっておりますので、その5カ所の公園、どこの何の遊具を補修するのかという部分を教えていただきたいと思いました。

それから、101ページの8款4項3目公園管理費、同じく公園なんですが、15節の工事請負費

の530万円、こちらの場所は決まっているのかという部分。

あと、どちらもなんですけれども、定期点検の頻度を教えていただければと思います。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 内田主査。

○都市整備課施設管理班主査（内田健一君） 鈴木委員の御質問にお答えいたします。

まず、遊具点検の定期頻度なんですけれども、こちらは年1回児童遊園と都市公園をあわせて行っております。こちらの5カ所という記載なんですけれども、その点検結果に基づいて修繕をしている状況でございます。修繕についてはAからDの4判定がつくようになっております。D判定というのが危険な遊具ということで指定されますので、それにつきましては修繕及び撤去ということで対応しているところでございます。この5カ所については今のところ未定でございますけれども、例年の点検結果の状況を見て、去年ですと児童遊園は2カ所で、遊具の内容によっても修繕の金額も異なりますので、とりあえず今年に勘案して5カ所、50万円という内容で記載してございます。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 2点目、公園管理。

○都市整備課施設管理班主査（内田健一君） 済みません。

公園管理に関しましても、昨年度実施しD判定がついたものが4カ所、あとC判定がついたものが6カ所修繕してございます。そのほかに砂場の検査も行ってございまして、遊具の修繕と合わせて砂場の入れかえ工事ということで、こちらの530万円を計上してございます。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 鈴木委員。

○鈴木晴子委員 定期点検1年間に1回ということだったんですけれども、その定期点検からずれてしまっているというか、町民の声で直した部分というものは今まであったのでしょうか。

○委員長（吉岡伸二郎君） 内田主査。

○都市整備課施設管理班主査（内田健一君） 鈴木委員の御質問にお答えいたします。

確かに遊具点検のほかにも我々職員がパトロールする際であるとか、町民の方から「ちょっと危ないんですけど」というような声が来ますので、うちのほうでその都度状況を見て修繕対応しているところでございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） よろしいですか。ほかに質疑ございませんか。9番高久委員。

○高久時男委員 では、1点お願いします。

97ページ、道路新設改良費の13節委託料ですね。これは昨年もあったんですけども、新幹線高架橋剝落対策業務委託料、これは町がこれを出すのは正当なのかどうかということと、あとおよその金額を教えてください。

○委員長（吉岡伸二郎君） 当局答弁願います。上野班長。

○都市整備課都市整備班長（上野昭博君） 9番高久委員にお答えします。

道路新設改良費の委託料、新砂押迎東浦線の新幹線高架橋剝落対策工事でございますが、設計当初からJRさんと協議を繰り返させていただいたんですけども、あくまでも原因者負担であるということで、JRさんのほうからやってくださいという話になっています。それで、やる工事に関しては新幹線のコンクリート片が落下しないような対策をやるわけですけども、そちらの金額なんですけれども、去年12月の定例会において債務負担を設定させていただきましたけれども、4,044万円ですかね。今基本協定の中でその金額で締結しております。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 高久委員。

○高久時男委員 協定があったということなんですけれども、道路とかつくって落下が未然に防止という形での工事だと思うんですけども、ちょっと考えれば通常の高架橋であっても落下がいけないことであって、人がいてもいなくても、これは責務的にはJR側の義務なんじゃないのかなと思っております。それと、例えば利府のほうで何らかの工事があるって、その工事によって構造物が弱体したとか、そういうことであればそれは賠償問題で処理する話であって、事前に剝離落下というのが予測されるから事前工事で補強するのが町の義務だというのがちょっとね。考え方ですけども、これは交渉なんでしょうけれども、それでちょっと何かいまいち腑に落ちないところがありますので、経過的にしようがないんでしょうけれども、なるべくこの辺の交渉事はしっかりやっていただきたいと思っております。

○委員長（吉岡伸二郎君） 答弁いらないですか。ほかに質疑ございませんか。3番後藤委員。

○後藤 哲委員 96ページお願いします。

1目の15節工事請負費の中の沢乙1号線の補修工事なんですけど、去年予算、要は設計業務委託料を上げていて、ここ何回かやられている場所かと思うんですけど、補修工事の内容をまず1点お願いします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 赤間主査。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

○都市整備課施設管理班主査（赤間崇光君） 3番後藤委員の御質問にお答えいたします。

沢乙1号線の補修工事ということでございますが、平成26年度に交通量等勘案しまして今の舗装厚では間に合わないということで、昨年度から工事を開始しております。

内容といたしましては、今ある舗装の下にある砕石、路盤の中にセメントと乳剤を混ぜて固めて、その上に舗装をかけているということで、交通量に勘案した舗装の強度になっております。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 後藤委員。

○後藤 哲委員 ということは、今、砕石やって、コンクリートやって、舗装している。現状的には全然問題ないと考えてよろしいんですか。

○委員長（吉岡伸二郎君） 赤間主査。

○都市整備課施設管理班主査（赤間崇光君） 後藤委員の御質問にお答えいたします。

交通量、大型等が走る交通量を勘案して設計しておりますので、新しく改修する部分につきましては、強度が十分保たれている舗装になっておりますので、御理解願います。

○委員長（吉岡伸二郎君） 後藤委員。

○後藤 哲委員 あそこの道路は震災関係のトラックとか結構走っているんで、かなり傷みはあると思うんですが、今回のこの補修工事でほとんど問題なくやっていけるという考えでよろしいんですね。

○委員長（吉岡伸二郎君） 赤間主査。

○都市整備課施設管理班主査（赤間崇光君） 後藤委員の御質問にお答えいたします。

沢乙1号線は仙台松島線のほうにつながる道路になっておりまして、町道沢乙1号線と町道高嶋線という道路になっております。我々であの路線、設計かけている部分につきましては、2.6キロほど設計をかけております。その中で災害の補修工事、また、今年度計上しておりますけれども、高嶋交差点の改良を除いた部分の約2キロの部分先ほど御説明した内容、セメントを入れた形の強度を持った舗装で直す計画でおります。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ございませんか。11番吉田委員。

○吉田裕哉委員 2点お尋ねいたします。

まず、100ページです。都市計画総務費の中で13節委託料、浜田・須賀地区計画法定図書作成

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

業務委託料というのが新たに計上されております。その地区計画で開発進められるようにということだと思っておりますので、今年度の取り組みの内容と、あと地区住民、地権者側の動きなど現時点で把握しているところがあれば御説明いただきたいと思っております。

あと、もう一点は102ページから103ページにかけてなんですが、住宅費の住宅管理費で、以前も一般質問で及川委員でしたか、公営住宅等長寿命化計画というものがあって、本来であるところの平成29年度から築50年を超える50年前後の町営住宅建てかえをやってきたいという計画だったんですが、財源不足で先送りということなんですけれども、改めて新年度も長寿命化計画にのっとった古くなった町営住宅の建てかえにはまだ取りかかれたいという認識でよろしいのかお尋ねいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 鈴木主査。

○都市整備課都市整備班主査（鈴木崇裕君） 11番吉田委員の御質問にお答えいたします。

浜田・須賀地区地区計画法定図書作成業務委託料でございますが、こちらにつきましては、これまでも作業を粛々と進めておりまして、来年度正式に都市計画決定する際に必要な法定図書を業務委託でまとめていきたいと考えておりました。それで、最終的には当然地区の地権者の方々から当然地区計画の内容につきまして同意を頂戴する形になりますので、これまでも年に何回か町内会長または地区の代表の方々に概要を説明しているんですけども、正式に来年度法定図書を作成できましたら再度地区の方々に概要の説明をいたしまして、内容の同意をいただいた上で都市計画決定を行っておきたいと考えております。

よろしく申し上げます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 2点目。村田主幹。

○都市整備課施設管理班主幹（村田 晃君） 吉田委員の御質問にお答えいたします。

公営住宅の長寿命化計画に基づく町営住宅の建てかえという御質問でしたけれども、議員おっしゃるとおり、震災の影響、それに伴う財源の確保が困難だということで、長寿命化計画に基づく整備計画というのが今おこなっている状況でございます。今後も財源の確保ができるかどうか、これを確認しながらの計画になるわけでございますけれども、現時点で構想としては震災復興事業も落ちつくであろう平成30年度からまず調査設計、それからその後建てかえの工事ということで進めてまいりたいということで考えております。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 吉田委員。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

○吉田裕哉委員 100ページです。浜田・須賀地区計画よくわかりました。

あと、ただ1点ちょっと心配なのは松島の第1種保護区域という、それも規制がいろいろ火葬場、斎場の問題でもこれまでの沿岸両地区の発展といいますか、活性化の計画を阻んできたというところがありますので、その辺の規制は乗り越えられる見込みなのかお話しいただきたいなと思います。

あと、102ページ、住宅管理費においての長寿命化計画につきましては、できれば再来年度ですか、平成30年度から調査設計という方向を示していただきました。あと、ちょっと今手元に資料ないんですけども、その長寿命化計画ですと、平成29年度から建てかえ検討とかに入る前に耐震補強とか、そういった少し大がかりにもたせる工事をするというような計画もあったと思いますけれども、その辺もまだこれからという考えなんでしょうか。お尋ねいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 鈴木主査。

○都市整備課都市整備班主査（鈴木崇裕君） 11番吉田委員の再質問にお答えいたします。

浜田・須賀地区につきましては、吉田委員御指摘のとおり、特別名勝松島の規制がございます。このため地区計画を設定しようと思っているエリアにつきましては、第2種保護地区といって今現在も土地利用を行っている部分、まずはこちらで地区計画を設定いたしまして、有効な土地利用を推進していきたいと考えております。厳しい特別名勝松島の規制につきましては、今後地区計画を決定してから再度粛々とそちらについては協議検討していきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 2点目。村田主幹。

○都市整備課施設管理班主幹（村田 晃君） 吉田委員の再質問にお答えいたします。

長寿命化計画に掲載されている耐震診断等をもとにした大規模な改築の計画ということでございますけれども、震災後にも住宅の損傷の状況、そういったものも見ておまして、今のところは大きな耐震の問題はないということで認識しております。このため平成30年度以降の住宅の建てかえ計画の中でももちろん耐震の性能というものも含めて、どういった住宅を新たに建てていくべきなのかということは検討していくという考えでございます。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに。6番木村委員。

○木村範雄委員 95ページ、土木費の道路橋梁費1目道路維持費で2,647万6,000円の減額という

ことで提案をされております。先ほどの説明では前年までやっていた分が終わったんだということ、減額ということでした。

96ページに行って、今回の議会でも専決処分ということで沢乙1号線の道路の不備の部分で半分の負担ということがありました。まず今回の工事、沢乙1号線外ですから沢乙1号線も含めて9,875万円ということですが、これで沢乙1号線の補修は終わるのかどうか。また次年度も予定をしているのかどうかを1つお伺いします。

あと、もしこの減額をするのであれば、町内でもっともっと道路の維持補修をするところはあると思うんですね。私もよく行くんですけども、その辺で今現在、今回の専決処分であるような本当にひどいような道路の陥没であったり崩落というのがないのかどうか。今現状では何とか若干我慢する程度で道路のがたがたはおさまることなのかどうか、2点お伺いします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 赤間主査。

○都市整備課施設管理班主査（赤間崇光君） 6番木村委員の御質問にお答えいたします。

まず、1点目の沢乙1号線、今年度で終わるのかということですが、先ほど後藤委員にも御説明いたしましたが、仙台松島線までつながる約2.6キロのうち、2キロを国の補助を活用しまして修繕する計画でございます。それで、ことしにつきましては300メートル、昨年やった部分から300メートルの舗装補修を考えております。

また、2点目のそのほかの場所の悪いところはないかということですが、議員御指摘のとおり、部分的に悪い場所等ございます。それにつきましては維持補修の中で部分的な修繕等を実施しながら段差解消とかを行っているところでございます。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 木村委員。

○木村範雄委員 2.6キロのうち2キロでことしは300メートル補修ということで、全体的にこの沢乙1号線の補修の計画どのぐらい、まさか7年間というかわからないけれども、どのぐらいでやろうとしているか、まず第1点。

あと、もう一つ、沢乙1号線でやはり穴ぼこというか、ガタができるというのはやっぱり路盤が悪いんだと、当然周りは田んぼですからやっぱり路盤を厚くにとって、そして行く。そのために今セメント改良の話なんかも出ているので、それでいいと思うんですけども、それ以外にも穴ぼこなんかできたときにどうしても表面を埋めて何とかなるんだけれども、やっぱり根

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

本的に対策はやっぱりやっていかなければならないとだめなのかなと、それで、工事請負費の中の一番上の町道及び生活道路の維持修繕工事、当然現況は埋めるだけしかできないと思うんですけども、それを計画性を持って路盤からちゃんと直していくような対策をとらなければならぬと思うんですけども、その辺まで入っていけるのかどうかの答弁をお願いします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 赤間主査。

○都市整備課施設管理班主査（赤間崇光君） 6番木村委員の再質問にお答えいたします。

まず、沢乙1号線の期間につきましては、本町で国の補助を活用して実施している、距離も長いので補助を活用して実施しているところです。昨年度は約260メートル、今年度は300メートルということで、2キロまで相当時間はかかってくるかと思いますが、その辺につきましても国に要望しながら補助金を活用しながら早期に修繕できるように対応してまいりたいと考えております。

次に2点目の舗装の修繕ということで、路盤から直さなければいけないのではないかとということでございますけれども、場所によっては我々で現地を見まして、もちろん陥没等があれば下の路盤も傷んでいるということが想定されますので、維持補修の中でできる限り路盤等入れかえだったり、部分的に舗装を厚くしたりという対応等をとっております。

また、その舗装の箇所等についてもクラックであればクラック注入、あとはクラック抑制シート等を入れながら長寿命化できるように対応しております。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 木村委員。

○木村範雄委員 済みません。1点だけ。

今回専決処分来たんですけども、あその場所はもう平成29年度分で完全によくなるというふうになるんでしょうか。今回の箇所がそこだったかどうかの確認です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 赤間主査。

○都市整備課施設管理班主査（赤間崇光君） 木村委員の御質問にお答えいたします。

専決処分でありました場所につきましては、今年度の工事ですっかり直るような形になります。今は一部穴があいていましたので、その部分については維持補修の中で舗装をかぶせておりました、今は大丈夫な状況です。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 質疑がありませんので、以上で都市整備課の予算審査を終わります。

どうも御苦労さまでした。

当局は退席願います。

ここで昼食休憩をとります。

再開は13時15分とします。

午後0時15分 休 憩

午後1時12分 再 開

○委員長（吉岡伸二郎君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、審査日程表により産業振興課及び農業委員会事務局の予算審査を始めます。

内容の説明に先立ち、産業振興課長より本日出席している説明員を紹介願います。産業振興課長。

○産業振興課長兼農業委員会事務局長（伊藤 智君） それでは、本日説明員として出席している職員を御紹介申し上げます。

初めに、前段から、商工観光班長の大谷浩貴です。（「大谷です。よろしく願います」の声あり）

次に、主幹の芳賀明英です。（「芳賀です。よろしく願います」の声あり）

次に、主査の小畑貴信です。（「小畑です。よろしく願います」の声あり）

続いて後段、農林水産班長の鈴木喜宏です。（「鈴木です。よろしく願います」の声あり）

次に、副参事の櫻井清喜です。（「櫻井です。よろしく願います」の声あり）

次に、主査の鈴木俊也です。（「鈴木です。よろしく願います」の声あり）

最後に、私、産業振興課長兼農業委員会事務局長の伊藤 智です。どうぞよろしく願います。

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。産業振興課長。

○産業振興課長兼農業委員会事務局長（伊藤 智君） それでは、平成29年度における産業振興課及び農業委員会事務局所管の当初予算につきまして、利府町各種会計予算説明書一般会計により御説明申し上げます。

初めに、歳入の主なものについて御説明申し上げます。

17ページをお開き願います。

16款2項1目総務費県補助金1節市町村振興総合補助金の説明欄、宮城の松林健全化事業費補助につきましては、前年度対比で25.7%減の167万5,000円を計上しております。減額の主な内容といたしましては、松くい虫被害木伐倒駆除事業について、平成28年度において被害木調査を重点的に行い、伐倒駆除事業を実施したことにより被害木の減少が見られ、平成29年度の松くい虫伐倒駆除事業費が減額となったことによるものであります。

次に、19ページをお開き願います。

同じく4目農林水産業費県補助金につきましては、前年度対比で33%減の1,199万3,000円を計上しております。減額の主な内容といたしましては、3節農地集積集約化対策事業費補助金の農地中間管理機構集積事業費補助金について交付単価が改正させたことによるものであります。

また、5節松くい虫防除対策費補助金につきましては、17ページの総務費県補助金1節市町村振興総合補助金中、宮城の松林健全化事業費補助でも御説明したとおり、平成29年度の松くい虫伐倒駆除事業費が減額となったことによるものであります。

同じく5目商工費県補助金につきましては、177万円を計上しており、前年度対比で16.3%の減となっております。減額の主な内容といたしましては、昨年度予算計上しておりました観光集客施設無線LAN設置支援事業補助金が減額となったことによるものであります。

25ページをお開き願います。

21款3項3目労働費貸付金元利収入及び4目商工費貸付金元利収入につきましては、各種融資預託金として、前年と同額を計上しております。

同じく25ページの21款5項3目雑入4節農業者年金事務委託金につきましては、農業者年金の事務に要する経費の委託金であり、前年度対比で29.7%減の22万5,000円を計上しております。減額の内容といたしましては、農業者年金受給者の減少に伴い事務処理件数が減になったことによるものであります。

26ページをお開き願います。

同じく5節土地改良施設維持管理適正化事業交付金につきましては、708万7,000円を計上しております。内容といたしましては、農業用水利施設の整備補修を計画的に実施するため、平成29年度に1施設の補修工事を実施することから、これまでの町の積立分と国・県からの交付

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

金を加算した金額が土地改良事業団体連合会より交付されるものであります。

次に、歳出の主なものについて御説明申し上げます。

なお、平成29年度の所管事業概要等につきましては、当初予算関係補足説明資料の49ページから54ページに記載してありますので、参考にしていただきたいと思います。

それでは、利府町各種会計予算説明書一般会計の42ページをお開き願います。

2款1項15目町制施行50周年記念事業費につきましては、産業振興課が担当する事業のみを御説明申し上げます。

初めに、地場産品レシピコンテスト事業といたしまして、利府梨と現在JA仙台利府地区で生産に取り組んでおります、イタリアントマトを使用したレシピを町内から募集し、コンテストを実施するために審査員への謝礼を初めとした必要経費として60万円を計上しております。

次に、マスコットキャラクター着ぐるみ作製事業といたしましては、町内外へ町のPRを図るため利府町観光協会のマスコットキャラクター、リーフちゃんの着ぐるみを作製する経費等といたしまして、102万円を計上しております。

次に、13節委託料中、記念写真撮影業務事業といたしまして、藤田地区の夫婦桜での記念撮影に係る経費として10万円を計上しております。

最後に、19節負担金、補助及び交付金中、地域消費生活震災復興支援事業といたしまして、地域経済の活性化と東日本大震災の復興支援のため、2割増し商品券の発行事業を行うものであり、利府松島商工会に対する補助金として2,730万円を計上しております。

84ページをお開き願います。

5款1項1目労働諸費につきましては、前年度と同額の4,020万1,000円を計上しております。

85ページをごらんください。

6款1項1目農業委員会費につきましては、前年度とほぼ同額の1,488万1,000円を計上しております。主な内容といたしましては、農業委員会事務局職員1名分の職員人件費と農業委員会に係る総会運営及び農家台帳整備の経費を計上しております。

86ページをお開き願います。

同じく2目農業総務費につきましては、前年度対比で12.4%減の3,653万4,000円を計上しております。主な内容といたしましては、農林水産班職員5名分の人件費となっております。

同じく3目農業振興費につきましては、前年度とほぼ同額の1,094万3,000円を計上しております。平成29年度においては、農業振興の新たな取り組みといたしまして、平成30年度の地域

おこし協力隊制度導入に向け、PR及び募集活動に係る経費を計上しております。

87ページをごらんください。

同じく4目畜産業費につきましては、前年度対比で64.3%増の68万5,000円を計上しております。

88ページをお開き願います。

増額の主な内容といたしましては、19節負担金、補助及び交付金の中のことし9月に開催される第11回全国和牛能力共進会宮城大会への負担金を計上したことによるものであります。

同じく5目農地維持費につきましては、前年度対比で16.5%増の2,444万7,000円を計上しております。増額の主な内容といたしましては、13節委託料の菅谷字東谷地地内用水路調査業務委託料を新たに計上したことによるものであります。この調査業務は、多賀城市が管理する新田堰の廃止が予定されていることに伴い、菅谷字東谷地地内圃場への農業用水供給のため、新たな供給ルートや用水量の調査を行うためのものでございます。

89ページをごらんください。

6款2項1目林業振興費につきましては、前年度対比で30.7%減の1,548万9,000円を計上しております。減額の主な内容といたしましては、歳入でも御説明申し上げましたが、平成28年度において、松くい虫による被害木調査を重点的に行い、被害木の伐倒駆除を徹底したことにより被害木の減少が見られることから伐倒駆除に係る経費が減額になったものであります。平成29年度におきましても、引き続き関連事業について計画的に実施していきたいと考えております。

90ページをお開き願います。

6款3項1目水産業振興費につきましては、前年度対比で15.9%減の23万3,000円を計上しております。

92ページをお開き願います。

7款1項1目商工振興費につきましては、前年度対比で1.2%減の1億865万7,000円を計上しております。主な内容といたしましては、商工観光班職員4名分の人件費となっており、各種事業につきましても前年とほぼ同様となっております。

最後に、93ページをごらんください。

同じく2目観光費につきましては、前年度対比で9.4%減の563万8,000円を計上しております。減額の主な内容といたしましては、歳入でも御説明申し上げました観光集客施設無線LA

N設置に関する経費の減によるものであります。

また、平成29年度の商工観光班の事業につきましては、前段でも御説明申し上げましたが、町制施行50周年記念事業のうち、4事業を担当することとなっております。

以上が産業振興課及び農業委員会事務局所管の平成29年度当初予算に係る主な内容でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。11番吉田委員。

○吉田裕哉委員 それでは、2点ほど質問させていただきます。

43ページ、町制施行50周年記念事業なんですけれども、一般質問でも提出しておりますが、それは無視してお答えいただきたいんですけれども、43ページの一番最後19節の中で、地域消費生活震災復興支援事業2,730万円で2割増し商品券の発行を予定されておりますので、商品券発行はこれまで過去何度もしているんですけれども、前回地方創生の交付金が出たときの取り組みと、今回それのどこをどう生かすのか、その変更点などありましたら一般質問のほうは無視してお答えいただきたいと思います。一般質問は私ですので、お答えいただきたいと思いません。

あと、もう一点は、87ページ、農業振興費の中で14節地域おこし協力隊募集PRブース借上料とあります。実際どこかの場所でPRをするということだと思いますし、先ほど御説明いただきましたとおり、平成30年度からということで、まずことは募集ということだと思いますが、農業振興の中で募集するということは農業にかかわる仕事で考えているのかなと思うんですが、具体的にどのようなことに取り組んでもらいたいということで募集するのか、その辺をお話いただきたいと思います。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 当局答弁願います。大谷班長。

○産業振興課商工観光班長（大谷浩貴君） 11番吉田委員の御質問にお答えいたします。

前回の商品券の事業につきましては、いろいろと町民の皆様方に混乱を招くような形がとられてしまい、非常に残念な結果になったと思います。今回につきましては、購入制限を設けさせていただいて全世帯に必ず1セットは買えるような形をとりたいと思います。あと、その申し込みの方法になりますけれども、町側から4月現在の住民登録の世帯主の方に、全世帯に引きかえ券を送るような形で、それをもとに購入していただくような形をとりたいと考えており

ます。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 2点目。鈴木班長。

○産業振興課農林水産班長（鈴木喜宏君） 11番吉田委員の御質問にお答えいたします。

87ページの農業振興費の中の14節の中の地域おこし協力隊の募集PRブース借上料ということの内容でございます。こちらにつきましては、東京で開催されます地域おこしフェア、そういったPRの場がございます。そこで平成29年度については2回ほどPRをしていきたいと考えております。

それから、この地域おこし協力隊、農業振興でどのような活動をしていくのかということでございますが、今現時点では梨を考えております。梨の栽培に携わっていただいて、町内だけでは担い手が厳しいというところも実際のところでございます。その中で産地として維持していくために少しでも多く栽培者を確保するというので、一つの手段と考えております。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 吉田委員。

○吉田裕哉委員 商品券のほうは大分本気を出してきたなという感じで理解できました。あとちょっと細かいところは一般質問でお尋ねしようかなと思います。

87ページの地域おこし協力隊ですが、全国にこの制度がありまして、ただ残念ながら2年、3年ですか、任期が切れるとその後本当は残りたいのに産業がなくて、仕事なくて帰ってしまうということで、2人に1人、半分はその期間だけの雇用になってしまうというような現状になっております。梨の栽培の担い手確保という話がありましたけれども、実際国から給料が出る期間を過ぎても残れるような、梨の栽培者としてその後も残れるような仕組みにつなげていていただきたいと思いますが、今のところもう少しその辺までは考えておられるでしょうか。お尋ねいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 鈴木班長。

○産業振興課農林水産班長（鈴木喜宏君） 11番吉田委員の再質問にお答え申し上げます。

地域おこし協力隊の委嘱というのが最大3年ということで今お話ございました。そのとおりでございますけれども、私たちも研修会にも何度か参加しておりまして、委嘱期間が過ぎた後の町の支援というのをいろいろほかの市町村の例とかも聞いております。やはり協力隊として委嘱している間に、今回梨ということで考えておりますけれども、そのほか地域の皆様と活動

していく中でほかの野菜とかの栽培もしていただければなと考えてはおります。一番は3年間で町の職員も一緒になってやっていかなければやはり3年過ぎた後の定住がままならないという状況は十分私たちも認識しておりますので、3年過ぎた以降もできれば考え方としては定住していけるように町の私たち職員としても支援もしていきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 質疑がありませんので、以上で産業振興課及び農業委員会事務局の予算審査を終わります。

御苦労さまでした。

当局は退席を願います。

ここで暫時休憩をします。再開は13時40分とします。

午後1時36分 休 憩

午後1時39分 再 開

○委員長（吉岡伸二郎君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、審査日程表により**震災復興推進室の予算審査**を始めます。

内容の説明に先立ち、震災復興推進室長より本日出席している説明員を紹介願います。震災復興推進室長。

○震災復興推進室長（阿部義弘君） お疲れさまです。それでは、本日、出席しております震災復興推進室の説明員を紹介いたします。

初めに、事業推進第一班から紹介いたします。

事業推進第一班班長の近江信治です。（「近江です。よろしく申し上げます」の声あり）

技術主幹の戸枝潤也です。（「戸枝です。よろしく申し上げます」の声あり）

主任主査の渡辺淳一です。（「渡辺です。よろしく申し上げます」の声あり）

主査の成田奈穂美です。（「成田です。よろしく申し上げます」）

続きまして、事業推進第二班を紹介いたします。

事業推進第二班長の鈴木喜勝です。（「鈴木です。よろしくお願いいたします」の声あり）

主任主査の大和田浩史でございます。（「大和田です。よろしく申し上げます」の声あり）

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

最後に、私、震災復興推進室長の阿部義弘です。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に所管事項の内容の説明を願います。震災復興推進室長。

○震災復興推進室長（阿部義弘君） それでは、震災復興推進室所管の平成29年度当初予算につきまして各種会計予算説明書①により御説明申し上げます。

初めに、歳入から御説明申し上げます。

予算説明書の14ページをお開きください。

15款2項4目農林水産業費国庫補助金2節農山漁村地域整備交付金3億349万5,000円につきましては、浜田地区防潮堤整備事業と須賀地区水門整備事業に係る水産庁所管の復興枠として補助金を計上しております。なお、補助率は2分の1となっており、残りは復興特別交付税として措置されるものです。

次に、22ページをお開きください。

22ページの上から3行目になります。17款1項2目利子及び配当金1節、利子及び配当金のうち、東日本大震災復興交付金基金の50万円につきましては、交付金基金に対する利子の見込み額を計上しております。

次に、24ページをお開きください。

19款2項9目東日本大震災復興交付金基金繰入金7億9,200万3,000円につきましては、平成29年度の復興交付金事業に係る財源として、基金から繰り入れをするものです。

次に、歳出について御説明申し上げます。

なお、復興関係事業の詳細につきましては、別冊の当初予算関係補足説明資料の28ページから30ページに記載しておりますので、御確認をお願いいたします。

54ページをお開きください。

2款6項4目復興推進費につきましては前年度と比較して2億4,017万3,000円減の5,840万9,000円を計上しております。減額の主な理由といたしましては、55ページの28節繰出金で浜田地区水路改修事業に伴う下水道特別会計への繰出金2億1,502万4,000円の減額によるものです。

56ページをお開きください。

2款6項5目復興整備費につきましては、前年度と比較して9億7,659万3,000円減の10億5,585万1,000円を計上しております。減額等の主な理由といたしましては、13節委託料では浜田地区避難路整備事業や町道須賀中倉線道路整備事業及び須賀地区排水機能強化事業等の発注

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

者支援業務並びに建物等の事前調査が完了したことにより8,923万4,000円の減額となっております。また、今年度は3,228万6,000円の委託料を計上し、適切な施工管理を行うための発注者支援業務や建物等事後調査業務を行うものです。

57ページの15節工事請負費では浜田地区避難路整備工事や須賀漁港泊地浚渫工事等の完成により8億6,407万5,000円の減額となっております。今年度は9億6,930万2,000円の工事請負費を計上し、浜田地区及び須賀地区での事業の早期完成に向け11件の工事を行うものです。

22節補償、補填及び賠償金では、浜田地区避難路等の補償が完了したことにより1,900万円の減額となっております。今年度は800万円を計上し、浜田漁港施設用地かさ上げ事業や須賀西側排水機能強化事業での電柱等の移転補償金を計上しております。

91ページをお開きください。

6款3項3目漁港整備費につきましては、浜田地区防潮堤整備事業及び須賀地区水門整備事業を行うための事業費として6億830万円を計上しております。

13節の委託料では、建物等事後調査業務と発注者支援業務の2件の調査等の委託として3,500万円を計上しております。

15節工事請負費では、浜田地区防潮堤工事に伴う廃船等解体処分工事と須賀地区水門整備工事の工事費5億7,029万円を計上しております。

22節に補償、補填及び賠償金では、浜田地区防潮堤工事の実施に係る電柱等の移転補償金として300万円を計上しております。

平成29年度も浜田地区と須賀地区においては、さまざまな工事を実施することになり、両地区にお住まいの皆様には何かと御不便をおかけすることもあります。両地区の皆様が一日でも早く、安全で安心できる生活を取り戻せるよう、早期復興に向けて努力してまいりたいと考えております。

以上が震災復興推進室所管の予算の説明でございます。よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。11番吉田委員。

○吉田裕哉委員 それでは、56ページから57ページにかけての復興整備費についてお尋ねいたします。

きのうの補正予算の際にいろいろと繰り越しをそれぞれの事情を説明されまして、さまざま

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

な事業、複数年、年をまたいで、年度をまたいでいろいろ続けておられるということで、実際の工期がどんなものになっているのかがいまいち不明ですので、新年度予算として復興整備費の工事請負費で11事業、工事掲げられておりますけれども、これは全部新年度で完成するという見込みでよろしいのかどうか。ちょっとお尋ねいたします。

あと、同じく91ページの漁港整備費の中で、浜田地区防潮堤と須賀地区水門整備ということで取り組んでおられます。水門整備は平成30年度までの継続費の設定をしておりますので、あと2年という計画だと思うんですけども、防潮堤整備も最終的にはどこまでの期間を見込んで取り組んでおられるのか、工期についてお尋ねいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 阿部室長。

○震災復興推進室長（阿部義弘君） 11番吉田委員にお答えいたします。

まず、57ページ、工事請負費関係、11件ほど計上させていただいておりますけれども、こちらは全て平成29年度末に完成予定となっております。

続きまして、91ページの工事請負費関係、まず須賀地区の水門整備、こちらは平成30年度末、平成31年3月末に完成予定を目指しております。

次に、浜田の防潮堤になりますけれども、こちらは毎年繰り越しをやっておりますけれども、最終的にはこちらでも平成31年3月末完成を目指して鋭意努力しているところです。

以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） よろしいですか。13番及川委員。

○及川智善委員 91ページに今の続きもあるんですけども、15節工事請負費の中で浜田地区の防潮堤工事に伴う廃船等解体処理工事ということになっておりますけれども、この廃船等解体ということで、まず1つは今まで廃船というのはどういう処置をしていて工事に邪魔だから解体することなのか、要するにあった廃船ですね。今までの処置、対策についてどのようにしてきたのか。それから廃船等とあるので、5億7,000万円かかっているけど須賀地区の水門整備工事も含めてなんですけれども、廃船のほかにもどのような解体があるのか、その辺の内容についてお伺いします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 近江班長。

○震災復興推進室事業推進第一班長（近江信治君） 13番及川委員にお答えいたします。

廃船なんですけれども、震災の津波等で上げられたものが浜田の漁港にそのまま残っておりまして、それをよけてまた工事という形でやっております、それを今回廃船ということで、船

体番号もわからない船なので処分をさせていただきたいということでございます。

あと、廃材なんですけれども、廃船等の等のほうなんですけれども、廃材、浮きとかロープとか竹とかあるんですけども、それも30立米ほどございますので、それを処分するというところでございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 及川委員。

○及川智善委員 そうすると、廃船等についてはことしやるということは、今までは浸水していなかったのか、それを含めた見積もりがあると思うんですけども、いつかは処分しなければならないという方針で来たと思うんですけども、今まで申請してもできなかったのか、今回通ったということで捉えてよろしいんですか。今まではなぜ6年もたってからということになったんでしょうか。その辺についてお尋ねします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 近江班長。

○震災復興推進室事業推進第一班長（近江信治君） 廃船なんですけれども、やはり津波が来たときに上げられたんですが、そのままの状態になっていまして、今回ある程度復興事業を認められましたので、まとめて処分したいということで考えてございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） よろしいですか。ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 質疑がありませんので、以上で震災復興推進室の予算審査を終わります。

御苦労さまでした。

当局は退席願います。

それでは、最終日に総括して質疑する事項の取りまとめ及び現地調査箇所の選定を行います。

質疑、あるいは御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 総括質疑並びに現地調査がないようですので、これで本日の予算審査特別委員会を散会します。

なお、明日3月8日は午前9時30分から特別委員会を再開いたしますので御参集願います。

本日はどうも御苦労さまでした。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月7日火曜日分）

午後1時56分 散 会

上記会議の経過は、事務局長鈴木則昭が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するためここに署名する。

平成29年3月7日

委員長